

令和 6 年度

事業報告書  
( 案 )

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

# 目 次

〔Ⅰ〕概 要.....	1
〔Ⅱ〕組 織	
1. 機 構.....	3
2. 理事・監事・評議員・最高顧問.....	4
3. 会議記録.....	5
4. 委員会.....	6
1) 委員会の所管事項.....	6
2) 委員会委員.....	7
3) 委員会・部会 会議実績.....	9
5. 自動車教育推進協議会.....	11
〔Ⅲ〕事業活動	
1. 自動車技術教育支援事業.....	13
1) 機材提供活動.....	13
2) 教員支援活動.....	15
3) 協賛支援活動.....	16
4) 交流促進活動.....	16
2. 調査研究事業.....	20
1) 調査活動.....	20
2) 教材作成活動.....	20
3. 研修事業.....	21
1) 財団研修活動.....	21
2) 講師派遣活動.....	21
4. 普及啓発事業.....	23
1) 普及啓発活動.....	23
2) 広域普及啓発活動.....	26

#### 〔Ⅳ〕 支援活動

1. 自動車技術教育関連イベントへの支援.....	29
---------------------------	----

#### 〔Ⅴ〕 組織運営

1. 理事・監事・評議員の異動.....	30
2. 委員会・部会の効率的な運営.....	30
3. 財務・経理の状況.....	30

#### 〔Ⅵ〕 庶務事項

1. 事務局体制.....	31
2. 賛助会費・寄附金の状況.....	31

#### ※ 添付資料

【資料1】令和6年度講師派遣実績.....	32
【資料2】令和6年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況.....	41

令和6年度事業報告附属明細書.....	48
---------------------	----

## 〔Ⅰ〕令和6年度 事業報告 概要

財団は、社会と自動車のより良い関係を形成するため、高等学校における自動車及び交通に関する教育への支援を行い、我が国の交通社会及び交通文化の健全な発展に寄与すべく、事業活動に取り組んでいる。新型コロナ感染が収束した令和5年度以降、「自動車技術教育の抜本的強化」を掲げて、自動車産業に携わる将来の担い手の育成支援、そして、若者が一層クルマに関心を持ってもらう取り組みを推進してきた。

自動車技術教育（自動車技術に関する教育）については、高等学校における技術教育の維持・向上とさらなる普及を支えるために、学科横断で学べる新教材「EV ミニカート・キット」を導入、自動車技術に関する講師派遣（出前授業）では“見て聴いて触れて”先進技術への理解促進、くるまへの関心向上を図った。さらに自動車整備の理解促進のために贈呈式を一部府県の販売店で実施した。

交通社会教育（自動車及び交通と社会とのかかわりに関する社会教育）では、「モビリティ」「交通技術」「環境技術」「交通安全」の4テーマを中心に取り組んだ。これらに関する国内外の先進事例の調査を実施し、その結果を動画学習サイトで情報発信した。また、先生方の関心が高い環境や安全に関する先進技術や交通安全等については、先生方を対象とした財団主催研修会や、関係団体からの専門講師の派遣を行うなどして、高校における自動車や交通に関する教育を支援した。

### 1. 自動車技術教育支援事業

技術教育支援事業は、東北・中部・関西地方の15府県313校を対象に自動車技術教育用教材提供の公募を行い、9県が前回（令和3年度）応募校を上回り、同地域過去最多の130校から応募があった。

新教材「EV ミニカート・キット」は機械・自動車系学科と電気・電子系学科の学科横断で学べる教材として人気を集め、初募集ながら38校の応募があった。

審査委員会にて厳正な審査・選考を行い、応募のあった全130校に教材の提供を行った。これで平成5年からの提供校累計は2,534校となった。

また、担当教諭の技術知識や指導力向上支援の一環として、汎用エンジン提供校（41校）への訪問指導、分解組立用エンジン提供校（9校）への解説DVDの提供を行った。

贈呈式・教育懇談会は教材提供地域全15府県にて実施した。従来ホテルで開催していた贈呈式を自動車整備の現場理解促進を図るため販売店6県、販売店研修会場1県にて開催、工場・店舗の見学会を実施した。参加した先生からは「冷暖房が完備され作業着も格好よく清潔感があり全くイメージと異なった」「処遇も改善されており、今後の進路指導に役立てたい」等、多くの気付きがあったとのことで、有意義な見学会となった。今後も贈呈式・教育懇談会については、高等学校の先生方に対する有用な情報提供の機会とすべく、最適な開催場所について現地の推進協議会と連携を図りながら検討していく。

### 2. 調査研究事業

調査研究事業では、国内調査を2回実施。「2024年問題」が社会的課題とされる中、「物流分野」、及び「搬送分野（“コストシェア型” ライドシェアサービス）」の現状や課題について調査した。これらの調査結果を動画化の上、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載し、広く高等学校への展開を行なった。

### 3. 研修事業

研修事業では、財団研修活動として「教員研修会（JAEF 研修会）」を3回開催した。栃木・静岡・東京で開催した研修会には、全国より高等学校の教員92名が参加した。各回ともに参加者から高い評価を得た。

講師派遣活動では、自動車技術、交通社会（環境・交通技術、交通安全）をテーマに全国約6,000の高等学校へ公募活動を行い、外部の専門講師を派遣した。令和6年度はコロナ禍前の過去最多と並ぶ363件となった。中でも自動車技術に関する講師派遣は、各教育団体や自販連と連携し過去最多の60件を実施した。

### 4. 普及啓発事業

普及啓発事業では、当年度の重点取組「自動車技術教育支援活動の抜本的強化」の一環として、「自動車技術 講師派遣」の申し込み・活用促進を図るべく、同 講師派遣の紹介動画を作成・公開した。また、自動車教育支援の更なる強化、クルマへの関心・理解向上を図るべく、動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』にて、2024年問題、クルマの安全技術・運転支援技術、商用車の電動化などをテーマとした計13本のコンテンツを掲載。あわせて、同サイトコンテンツの視聴、及び講師派遣の活用を促進すべく、一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム」が設ける各種教材にアクセスできるポータルサイトにて、計22件のコンテンツを追加掲載した。

この他、当財団および活動内容に対する認知度向上・各種支援の活用促進を図るべく、メルマガ登録者数の増加、先生方に近接した機会（全国規模の研究会や教育団体 機関誌）での告知・情報提供などを実施した。

広域普及啓発活動としては、メールマガジン、フェイスブック、X（旧ツイッター）での継続的な情報提供により、広く世間に対して自動車教育並びに財団活動に関する情報を発信した。特に、自動車技術 講師派遣についてはその認知度をさらに高めるべく、前年度に引き続き各実施校での講習の様子や反響をフェイスブック、Xに投稿した。ホームページ、ニュースリリース（『JAEF NEWS』）、定期事業報告紙（『JAEF REPORT』）等のメディア・ツールにおいても事業展開に合わせ適宜更新を行い、タイムリーな情報発信を実施した。

### 5. 組織運営について

令和6年度の財団事業は、第31回理事会（令和6年3月18日開催）にて承認された令和6年度事業計画及び令和6年度収支予算に基づき、展開された。

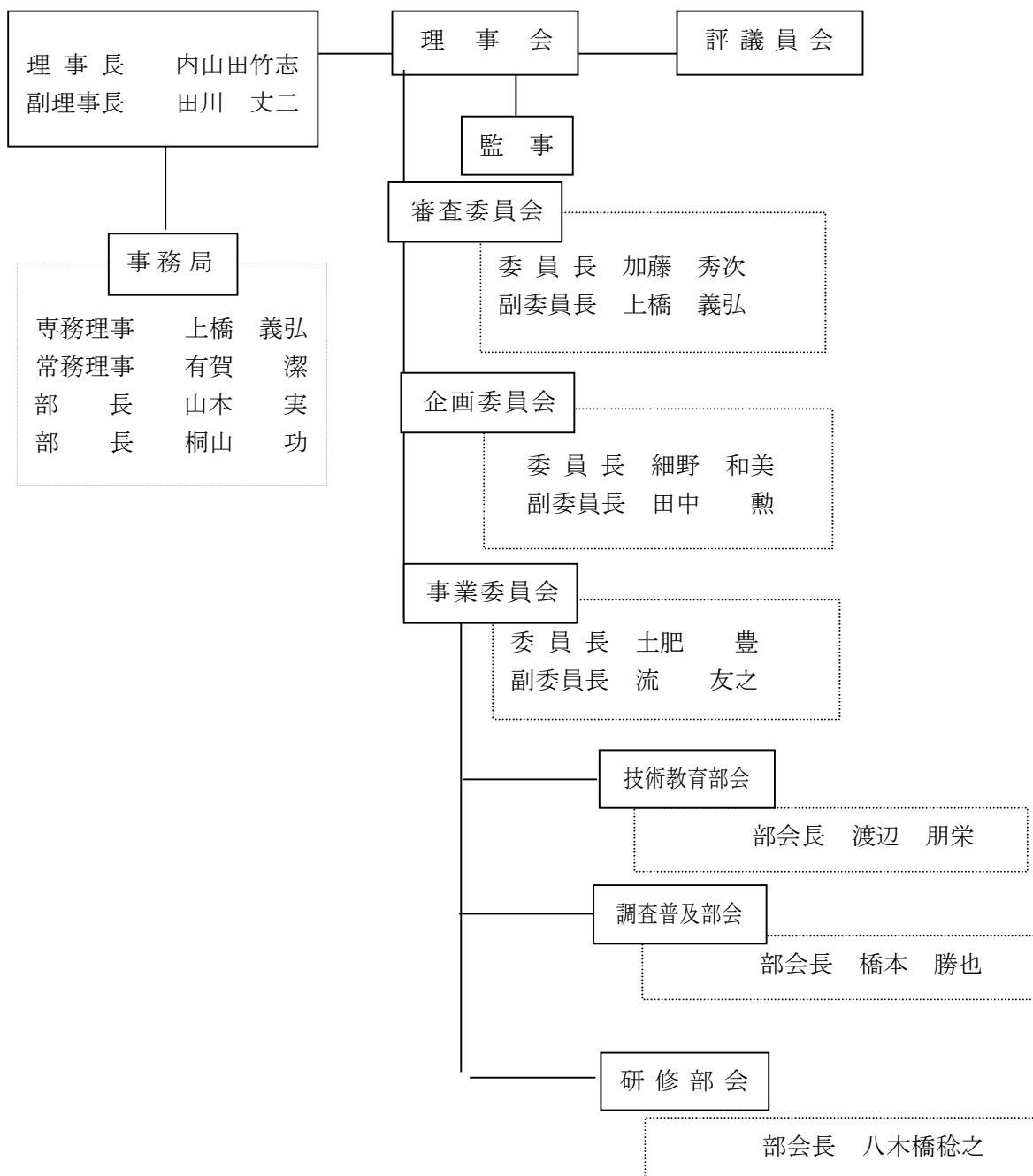
具体的な事業展開に際しては、各委員会・部会での検討を経て、効率的な展開を心がけた。これら会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

収支に関しては、収入は賛助会費の一部減額が継続、前年度とほぼ同額の8,184万円であった。支出は、技術教育支援事業の継続的な取り組み強化（教材提供で過去最多の提供校数を記録）等に伴う増加に対し、事業運営の効率化及び当初計画していた活動の一部取り止めによる費用節減に取り組んだが、前年度から354万円増の8,375万円となった。最終的な収支全体は191万円の赤字となった。

## 〔Ⅱ〕組織

### 1. 機構

令和7年3月31日現在  
敬称略



## 2. 理事・監事・評議員・最高顧問

[令和7年3月31日現在]

(敬称略)

理事長	内山田 竹 志	[ト ヨ タ 自 動 車(株)	Executive Fellow]
副理事長	田 川 丈 二	[日 産 自 動 車(株)	専務執行役員 子会社代表取締役]
理 事	松 永 明	[(-社)日 本 自 動 車 工 業 会	副会長・専務理事]
理 事	小 糸 正 樹	[(-社)日 本 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会	副会長・専務理事]
理 事	島 雅 之	[(-社)日 本 自 動 車 整 備 振 興 会 連 合 会	専 務 理 事]
理 事	野 津 真 生	[(-社)日 本 自 動 車 連 盟	専 務 理 事]
理 事	板 崎 龍 介	[(-社)全 国 軽 自 動 車 協 会 連 合 会	専 務 理 事]
理 事	伊豆原 孝	[(-社)日 本 損 害 保 険 協 会	常 務 理 事]
専務理事	棟 方 克 夫	[(-社)全 国 工 業 高 等 学 校 長 協 会	顧 問]
常務理事	上 橋 義 弘	[(-財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団	事 務 局 常 勤]
	有 賀 潔	[(-財)日 本 自 動 車 教 育 振 興 財 団	事 務 局 常 勤]

(以上 11 名)

監 事	高 橋 信 行	[(-社)日 本 自 動 車 工 業 会	理事・事務局長]
監 事	山 崎 幸 雄	[山 崎 幸 雄 税 理 士 事 務 所	代 表]

(以上 2 名)

評 議 員	宮 本 久 也	[ 全 国 高 等 学 校 長 協 会	事 務 局 長 ]
評 議 員	佐 藤 信 孝	[ 全 国 総 合 学 科 高 等 学 校 長 協 会	理 事 長 ]
評 議 員	古 藤 一 弘	[ 全 国 自 動 車 教 育 研 究 会	会 長 ]
評 議 員	沖 山 栄 一	[ 全 国 公 民 科 ・ 社 会 科 教 育 研 究 会	会 長 ]
評 議 員	柳 田 昌 宏	[ (-社)日 本 自 動 車 機 械 工 具 協 会	会 長 ]
評 議 員	武 藤 孝 弘	[ (-社)日 本 中 古 自 動 車 販 売 協 会 連 合 会	専 務 理 事 ]
評 議 員	一 色 良 太	[ (-財)日 本 自 動 車 研 究 所	代表理事・専務理事 ]
評 議 員	島 崎 豊	[ (-社)日 本 自 動 車 会 議 所	専 務 理 事 ]
評 議 員	波 留 静 哉	[ (-財)日 本 自 動 車 査 定 協 会	専 務 理 事 ]
評 議 員	鈴 木 欣 也	[ (-社)自 動 車 公 正 取 引 協 議 会	専 務 理 事 ]
評 議 員	入 野 泰 一	[ 日 本 自 動 車 輸 入 組 合	副理事長 兼 専務理事 ]
評 議 員	石 橋 正 人	[ (-財)自 動 車 製 造 物 責 任 相 談 セ ン タ ー	常務理事・事務局長 ]
評 議 員	板 倉 範 顕	[ (-社)日 本 自 動 車 車 体 工 業 会	専務理事・事務局長 ]
評 議 員	西 脇 尚 澄	[ (-財)自 動 車 検 査 登 録 情 報 協 会	理 事 ]
評 議 員	河 合 信 之	[ (-財)国 際 交 通 安 全 学 会	専 務 理 事 ]
評 議 員	桐 生 裕 規	[ 東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 (株)	常 務 執 行 役 員 ]
評 議 員	齋 藤 滋 夫	[ 損 害 保 険 ジ ャ パ ン (株)	副社長執行役員 ]
評 議 員	田 上 裕 久	[ 三 井 住 友 海 上 境 保 険 (株)	専 務 執 行 役 員 ]
評 議 員	荒 川 裕 司	[ あいおいニッセイ同和損害保険(株)	常 務 執 行 役 員 ]
評 議 員	安 部 典 明	[ 本 田 技 研 工 業 (株)	執 行 役 常 務 ]
評 議 員	菖蒲田 清 孝	[ マ ツ ダ (株)	代表取締役会長 ]

(以上 21 名)

最高顧問 小 枝 至

### 3. 会議記録

#### 1) 第 32 回 理事会

- (1) 日 時 令和 6 年 5 月 21 日 (火) 14 時 15 分～15 時 15 分
- (2) 場 所 芝パークホテル 2 F アイビー
- (3) 議 案 ①令和 5 年度事業報告及び決算について  
②第 13 回定時評議員会開催について  
③評議員の選任 (案) について
- (4) 報 告 ①代表理事、業務執行理事の職務執行の状況報告  
「令和 6 年度事業進捗状況について」

#### 2) 第 13 回 評議員会

- (1) 日 時 令和 6 年 6 月 11 日 (火) 16 時 30 分～17 時 00 分
- (2) 場 所 経団連会館 4 階 桃山の間
- (3) 議 案 ①議長選出  
②議事録署名人選出  
③令和 5 年度事業報告および決算について  
④評議員の選任について

#### 3) 決議の省略による書面での理事会

- (1) 議 案 ①理事辞任につき後任候補者選任の件  
②臨時評議員会の件
- (2) 提案日 令和 6 年 8 月 30 日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和 6 年 9 月 11 日

#### 4) 決議の省略による書面での評議員会

- (1) 議 案 ①理事辞任につき後任者選任の件
- (2) 提案日 令和 6 年 9 月 17 日
- (3) 決議のあったものとみなされる日 令和 6 年 10 月 1 日

#### 5) 第 33 回 理事会

- (1) 日 時 令和 7 年 3 月 18 日 (火) 10 時 30 分～11 時 30 分
- (2) 場 所 芝パークホテル 2 F アイビー
- (3) 議 案 ①令和 7 年度事業計画及び収支予算について  
②事務局員の異動について  
③今後の理事会・評議員会開催日程について



#### 4. 委員会

##### 1) 委員会の所管事項

###### (1) 企画委員会

理事会に提案する事項並びに理事会より委託を受けた事項。その他、財団事業運営の基本に関わる事項

###### (2) 審査委員会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業のうち、実習用機材・機械・工具等の提供に関し、具体的な対象校・対象内容ならびに自動車技術教育の振興に資する全国規模の活動に対する助成について審査・選考する事項

###### (3) 事業委員会

定款第4条に定める事業の企画・立案・推進および調整に関する事項  
事業委員会の任務を遂行するために下記の部会を設ける

###### ①技術教育部会

定款第4条(1)に定める機材提供を中心とした自動車技術教育の支援事業に関する事項

###### ②研修部会

定款第4条(2)に定める高等学校及び教諭を対象とした研修会の開催と講師派遣事業に関する事項

###### ③調査普及部会

定款第4条(3)に定める国内外の交通実態に関する調査研究と情報提供事業、並びに同条(4)に定める自動車教育の普及啓発事業に関する事項

## 2) 委員会委員

令和7年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

### (1) 企画委員会 (9名)

委員長	細野 和美	〔日産自動車(株) 渉外部 担当部長〕
副委員長	田中 勲	〔トヨタ自動車(株) 渉外部第一渉外室主幹〕
委員	井上 良太	〔三井住友海上火災保険(株) 理事モビリティマーケット戦略部長〕
委員	田平 秀幸	〔損害保険ジャパン日本興亜(株) 自動車営業支援部長〕
委員	土居崎寿滋	〔あいおいニッセイ同和損害保険(株) 理事自動車保険部長〕
委員	栃木 理江	〔三菱自動車工業(株) 総務渉外部 担当マネージャー〕
委員	春木 健	〔マツダ(株) 東京総務部長〕
委員	深山 寛泰	〔本田技研工業(株) 渉外部 担当課長〕
委員	山本 祐士	〔東京海上日動火災保険(株) 理事 営業推進部モビリティ室担当部長〕

### (2) 審査委員会 (7名)

委員長	加藤 秀次	〔 有識者〕
副委員長	上橋 義弘	〔(公財)日本自動車教育振興財団 専務理事〕
委員	石井 末勝	〔東京都職業能力開発協会 ものづくりアドバイザー〕
委員	佐々木 哲	〔 有識者〕
委員	土肥 豊	〔(一社)日本自動車販売協会連合会 常務理事〕
委員	細野 和美	〔日産自動車(株) 渉外部 担当部長〕
委員	渡邊 隆	〔(公社)全国工業高等学校長協会 事務局長〕

### (3) 事業委員会 (7名)

委員長	土肥 豊	〔(一社)日本自動車販売協会連合会 常務理事〕
副委員長	流 友之	〔(一社)日本損害保険協会 業務企画部長〕
委員	海老澤 勲	〔(一社)全国軽自動車協会連合会 管理部総務課長〕
委員	柴田 年輝	〔(一社)日本自動車連盟 交通環境部部長〕
委員	高橋 徹	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会 教育・技術部長〕
委員	古川 博一	〔(一社)日本自動車工業会 総合政策領域担当部長〕
委員	渡邊 隆	〔(公社)全国工業高等学校長協会 事務局長〕

## 2) 委員会委員

令和6年3月31日現在

(五十音順 敬称略)

### ①技術教育部会 (8名)

部会長	渡辺 朋栄	〔三菱自動車工業(株) サービスエンジニアリング部 部長付〕
副部会長	阿部 徹	〔日産自動車(株) TCSX 国内サービス部 サービス技術渉外リーダー〕
委員	片岡 保男	〔マツダ(株) 国内商品マーケティング部 シニアエキスパート〕
委員	木原 康秀	〔トヨタ自動車(株) サービス部 統括室東京サービス渉外グループ〕
委員	木村 壮一	〔東京都立墨田工科高等学校 自動車科 主任教諭〕
委員	齋藤 洋仁	〔(一社)日本自動車機械工具協会 企画課(兼)総務課 係長〕
委員	笹平 篤生	〔東京都立総合工科高等学校 機械・自動車 主任教諭〕
委員	中村 淳二	〔本田技研工業(株) 日本本部お客様部サービス研修課 課長〕

### ②調査普及部会 (8名)

部会長	橋本 勝也	〔(一社)日本自動車会議所 理事〕
副部会長	田中 勲	〔トヨタ自動車(株) 渉外部 第1 渉外室 主幹〕
委員	浅川 貴広	〔東京都立蒲田高等学校 主幹教諭〕
委員	木村 栄一	〔東京海上日動火災保険(株) 営業推進部 部長〕
委員	坂本 英樹	〔三井住友海上火災保険(株) 損害サポート業務部 業務チーム 課長〕
委員	竹村 公一	〔SOMPO リスクマネジメント(株) 自動車コンサルティング部 特命部長〕
委員	仲 信之	〔成蹊高等学校 教諭〕
委員	平野 幸夫	〔(一社)日本損害保険協会 業務企画部 啓発・教育グループ 担当課長〕

### ③研修部会 (8名)

部会長	八木橋 稔之	〔(一社)日本自動車販売協会連合会 参事 登録事業部長 兼 法務部長〕
副部会長	土岐 道弘	〔(一社)日本自動車連盟 交通環境部 事業推進課 課長〕
委員	安部 敬	〔東京都立小松川高等学校 公民科 主任教諭〕
委員	井出 泰男	〔日産自動車(株) 日産横浜自動車大学校 校長〕
委員	笠原 剛	〔(一社)日本自動車整備振興会連合会 調査企画部 部長〕
委員	工藤 正行	〔(一社)全国軽自動車協会連合会 事業部 二輪事業担当部長〕
委員	寺島 史剛	〔(一社)日本損害保険協会 業務企画部 啓発・教育グループ 課長〕
委員	山本 一哉	〔本田技研工業(株) 経営企画統括部 環境企画部 技術渉外課チーフエンジニア〕

### 3) 委員会・部会 会議実績

#### (1) 企画委員会

①令和6年度第1回 令和6年5月13日(月) 15:00～15:40

- 議題
- ・第32回理事会提案資料について
  - ・第13回定時評議員会提案資料について

②令和6年度第2回 令和6年10月29日(火) 15:00～16:00

- 議題
- ・令和6年度財団事業進捗状況
  - ・上期収支ならびに財務状況

③令和6年度第3回 令和7年3月6日(木) 13:30～14:30

- 議題
- ・第33回理事会提案資料について

#### (2) 審査委員会

①第13回 令和6年8月21日(水) 10:30～11:30

※開催回は、公益財団法人移行後(平成24年4月～)の通算回数を表記。

- 議題
- ・令和6年度自動車教育用「教材」支援事業の審査選考  
(支援対象校及び支援内容の決定)
  - ・助成先の決定

#### (3) 事業委員会

①令和6年度第1回 令和6年10月29日(火) 13:30～14:30

- 議題
- ・令和6年度財団事業進捗状況

②令和6年度第2回 令和7年3月6日(木) 10:00～11:00

- 議題
- ・令和6年度事業進捗状況及び令和7年度事業計画(案)
  - ・令和6年度決算見込み及び令和7年度収支予算(案)

#### (4) 技術教育部会

①令和6年度 第1回 令和6年5月23日(木) 16:00～17:00

- 議題
- ・令和5年度 自動車教育用教材活用状況について
  - ・令和6年度 自動車教育用教材メニュー(案)について
  - ・令和6年度 技術系講師派遣について

②令和6年度 第2回 令和6年8月2日(金) 16:00～17:00

- 議題
- ・令和6年度 教材提供活動 応募状況について
  - ・令和6年度 審査委員会 提案内容(案)について
  - ・令和6年度 技術系講師派遣応募・実施状況について

③令和6年度 第3回 令和6年10月23日(水) 16:00～17:00

- 議題
- ・令和6年度 技術教育支援事業の上期進捗状況について

④令和6年度 第4回 令和7年2月26日(水) 16:00～17:00

- 議題
- ・財団 令和7年度方針(案)
  - ・技術教育支援事業 令和6年度活動実績及び令和7年度事業計画(案)

#### (5) 調査普及部会

①令和6年度第1回 令和6年10月15日(火) 15:00～16:00

- 議題
- ・令和6年度 調査研究事業の進捗状況について
  - ・令和6年度 普及啓発事業の進捗状況について

②令和6年度第2回 令和7年3月3日(月) 15:00～16:00

- 議題
- ・令和7年度 財団事業方針について
  - ・令和7年度 調査研究事業計画(案)について
  - ・令和7年度 普及啓発事業計画(案)について

(6) 研修部会

①令和6年度第1回 令和6年10月24日(木) 13:30～14:30

- 議題
- ・令和6年度 研修事業上期進捗状況について
  - ・令和7年度 講師派遣・研修メニューについて

②令和6年度第2回 令和7年2月26日(木) 13:30～14:30

- 議題
- ・令和7年度 財団事業活動方針について
  - ・令和6年度 研修事業進捗 令和7年度 研修事業計画案について

5. 自動車教育推進協議会

各都道府県の自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会、日本自動車連盟支部、日本損害保険協会支部（一部地域は中古自動車販売協会を含む）により、47都道府県において自動車教育推進協議会が設置され、各都道府県を対象とした自動車教育の推進に取り組んでいる。

同推進協議会は独立した自主的組織として独自の活動に取り組む一方、弊財団と連携し、各都道府県における教材贈呈式及び教育懇談会の開催、研修会への専門講師派遣、自動車教育イベントへの協賛支援等に取り組んでいる。

令和6年度 教材贈呈式及び教育懇談会は教材提供全15府県で実施した。また自動車教育イベントは7件の依頼があり、天候不順で1件中止以外はすべて支援した。

# 自動車教育推進協議会 設置状況一覧表

令和7年3月31日現在

	名 称	設置年月日 (平成)	会 長	事 務 局	
				事務局長	所在地 (連絡先)
1	北海道自動車教育推進協議会	13. 1.10	池 田 義 典	福 田 昇	札幌市東区北28条東1-2-3 札幌自動車会館 (TEL 011-753-5162)
2	青森県自動車教育推進協議会	8. 5.17	小 野 大 介	石 川 善 孝	青森市奥野1-12-3 (TEL 017-776-4211)
3	岩手県自動車教育推進協議会	14. 3.20	元 持 儀 之	宮 野 和 之	紫波郡矢巾町流通センター南2-8-3 (TEL 019-637-2881)
4	宮城県自動車教育推進協議会	12.11. 1	渡 邊 広 章	佐 藤 博 昭	仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館 (TEL 022-232-1571)
5	福島県自動車教育推進協議会	12.12. 1	小 室 和 人	安 藤 利 之	福島市吉倉字名倉1-1 (株)福島販会館 (TEL 024-546-1664)
6	秋田県自動車教育推進協議会	12.11. 1	辻 良 之	佐々木 俊 幸	秋田市八橋大畑2-12-55 (TEL 018-862-1117)
7	山形県自動車教育推進協議会	12.11. 1	高 橋 修	鏡 道 宏	山形市大字漆山字行段1422 (TEL 023-686-4521)
8	新潟県自動車教育推進協議会	13.11. 1	町 田 一 越	太 田 武 司	新潟市中央区東出来島11-16 新潟県自動車会館 (TEL 025-285-6286)
9	長野県自動車教育推進協議会	13. 5.23	宇都宮 進 一	遠 藤 丈 夫	長野市大字高田字五分一沖679-10 長野県自動車会館 (TEL 026-226-5416)
10	茨城県自動車教育推進協議会	14.10. 1	加 藤 敏 彦	市 川 昌 幸	水戸市住吉町292-5 茨城県自動車会館 (TEL 029-247-4860)
11	栃木県自動車教育推進協議会	12.10.25	新 井 孝 則	船 田 弘 幸	宇都宮市今宮2-4-6 栃木県自動車会館 (TEL 028-658-8811)
12	群馬県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	星 崎 功 明	星 野 朗	前橋市野中町564 群馬自販会館 (TEL 027-261-0830)
13	埼玉県自動車教育推進協議会	18.10. 1	茂 木 喜 明	塩 原 良 二	さいたま市西区大字中釘2255 (株)埼玉販会館 (TEL 048-623-1211)
14	千葉県自動車教育推進協議会	14. 4. 1	出 野 祥 平	高 橋 敏 行	千葉県美浜区新港207 (TEL 043-242-3321)
15	東京都自動車教育推進協議会	17.11.18	加 藤 和 夫	細 沼 聡	品川区西五反田4-32-9 東京日産西五反田ビル1号館3F (TEL 03-3491-8241)
16	神奈川県自動車教育推進協議会	14.10. 1	高 木 恵 一	中 澤 延 夫	横浜市都筑区池辺町3663 神奈川県自販会館 (TEL 045-933-3626)
17	山梨県自動車教育推進協議会	15. 5.30	佐々木 宏 明	遠 藤 聡	笛吹市石和町唐柏1000-7 山梨県自動車販売店会館 (TEL 055-263-3001)
18	富山県自動車教育推進協議会	12.12. 1	品 川 祐一郎	石 橋 浩 明	富山市新庄町字馬場18-8 富山県自販会館 (TEL 076-425-8353)
19	石川県自動車教育推進協議会	12.12. 1	小 杉 雄 二	松 田 等	金沢市直江東2-122-1 (TEL 076-238-5177)
20	福井県自動車教育推進協議会	12.12. 6	浮 田 啓 三	安 藤 和 博	福井市西谷1-1401 福井県自動車会館 (TEL 0776-34-1622)
21	岐阜県自動車教育推進協議会	17.10.24	加 藤 元 康	藤 川 正 人	岐阜市日置江2648-2 岐阜県自動車会館 (TEL 058-279-3761)
22	静岡県自動車教育推進協議会	16. 2.18	堀 章 弘	古 屋 勝 治	静岡市駿河区国吉田2-4-35 静岡県自販会館 (TEL 054-261-2177)
23	愛知県自動車教育推進協議会	15.10. 1	小 林 剛	伊 藤 敏 男	名古屋市市中川区昭和橋通4-8-2 愛知県自販会館 (TEL 052-353-6161)
24	三重県自動車教育推進協議会	13. 3.10	岩 井 純 朗	駒 田 仁 史	津市雲出長常町字六ノ割1190-1 三重県自動車協議会会館 (TEL 059-234-4567)
25	滋賀県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	吉 川 敦 巳	嶋 本 努	守山市木浜町229-12 滋賀県自販会館 (TEL 077-585-7292)
26	京都府自動車教育推進協議会	14. 9. 1	澤 井 孝 之	山 岡 宏	京都市伏見区竹田向代町51-5 京都自動車会館 (TEL 075-671-6121)
27	大阪府自動車教育推進協議会	18.11. 1	久 保 尚 平	谷 本 保 文	寝屋川市高宮栄町13-1 (TEL 072-821-5522)
28	兵庫県自動車教育推進協議会	13. 7. 1	長 手 繁	木 村 淳 三	神戸市東灘区魚崎浜町33 兵庫県自動車会館 2F (TEL 078-441-1501)
29	奈良県自動車教育推進協議会	15. 3. 1	菊 池 攻	澤 島 弘 之	大和郡山形町部比町981-8 (株)奈良県自動車会館 (TEL 0743-56-8458)
30	和歌山県自動車教育推進協議会	12.11. 1	弘 田 宗 博	新 古 広 光	和歌山市湊1106 和歌山県自動車会館 (TEL 073-422-2027)
31	鳥取県自動車教育推進協議会	15. 4.14	米 原 良	但 住 和 雄	鳥取市丸山町246-1 (TEL 0857-24-6171)
32	島根県自動車教育推進協議会	14.11. 1	野々村 健 造	橋 本 実千寿	松江市馬場町43-4 (TEL 0852-37-0044)
33	岡山県自動車教育推進協議会	14.11. 1	中 川 裕 二	谷 本 博 志	岡山市北区富吉5301-8 (株)岡山県自動車会館2F (TEL 086-259-3000)
34	広島県自動車教育推進協議会	11. 9. 1	藤 井 一 裕	村 上 弘 人	広島市西区観音新町4-13-13-3 広島県自動車会館 (TEL 082-232-4418)
35	山口県自動車教育推進協議会	11. 3. 1	大 原 敏 之	藤 原 裕 宜	山口市葵1-5-58 山口県自動車会館 (TEL 083-922-0909)
36	徳島県自動車教育推進協議会	8.12.16	北 島 義 貴	三 宅 徳 明	徳島市志保町志保産業団地1-6 徳島県自動車会館 (TEL 088-641-2665)
37	香川県自動車教育推進協議会	17. 1. 1	灘 波 順 一	平 尾 公 人	高松市香西東町278-1 (TEL 087-881-4996)
38	愛媛県自動車教育推進協議会	14. 9. 1	松 田 卓 恵	曾我部 孝 美	松山市森松町1075-2 (TEL 089-956-2747)
39	高知県自動車教育推進協議会	15. 7.29	佐 藤 誠 三	秋 山 教二郎	高知市大津乙1879-5 高知県自動車会館 (TEL 088-866-6000)
40	福岡県自動車教育推進協議会	13.12. 1	金 野 誠	川 原 芳 昭	福岡市東区千早3-9-23 福岡交通会館 (TEL 092-681-5963)
41	佐賀県自動車教育推進協議会	13. 8. 1	前 田 博 憲	本 村 修 紹	佐賀市若楠2-7-1 佐賀県自販会館 (TEL 0952-31-1335)
42	長崎県自動車教育推進協議会	15. 2. 1	藤 岡 良 規	平 田 泰 範	長崎市中里町1576-7 長崎県自販連会館 (TEL 095-839-2611)
43	熊本県自動車教育推進協議会	12.11. 1	西 治三朗	松 本 伸 二	熊本市東区東町4-14-8 熊本県自動車会館 (TEL 096-365-0638)
44	大分県自動車教育推進協議会	10. 6.15	橋 本 仁	岩 尾 豊 樹	大分市大津町3-4-13 大分交通会館1F (TEL 097-558-7791)
45	宮崎県自動車教育推進協議会	15. 7.11	佐土嶋 恒 夫	中 武 光 博	宮崎市大字本郷北方字鶴尾2735-25 宮崎県自販会館 (TEL 0985-51-8255)
46	鹿児島県自動車教育推進協議会	14. 3. 1	中 村 博 之	樋 渡 公 義	鹿児島市谷山港2-4-9 鹿児島県自動車会館 (TEL 099-262-0011)
47	沖縄県自動車教育推進協議会	8. 2.14	野 原 朝 昌	嶋 田 和 彦	浦添市港川512-8 沖縄県自動車会館 (TEL 098-877-5225)

### 【Ⅲ】事業活動

#### 1. 自動車技術教育支援事業

##### 1) 機材提供活動

令和 6 年度は学科横断で学べる新教材「EV ミニカート・キット」を追加して 29 メニューとした。

公募は 15 府県 313 校（全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、全国自動車教育研究会 の 3 団体に加盟している高校）を対象に実施、全府県から前回（令和 2 年度）を上回る過去最多 130 校の申請があった。

これらの申請について、8 月 21 日に開催した審査委員会での厳正な審査・選考の結果、申請のあった 130 校全てに自動車技術教育用教材の提供を決定した。

なお、これらの教材の提供は令和 6 年度内に各高校へ発送済みであり、令和 7 年度において各校の教育現場にて活用予定である。

令和 6 年度 自動車教育用教材メニュー一覧



##### (1) 教材別申請状況

第一希望における一番人気の教材は「分解組立用エンジン（汎用 126cc）」（A～C の 3 コースで 40 校が応募、全体の 30.8%）であった。次いで新教材「EV ミニカート・キット」（全体の 29.2%）、次いで「分解組立用電子制御エンジン」（11 校で全体の 8.5%）であった。

「分解組立用エンジン（汎用 126cc）」は令和 4 年度作成した解説動画（分解編・組立編の 2 本）を HP に掲載したことで分解組立実習を初めて担当する先生にもイメージしやすいようにした。これにより応募校が前回 32 校から 40 校に増えた。また、新教材「EV ミニカート・キット」は機械・自動車系学科と電気・電子系学科とも学科横断で学べる教材として狙い通り人気を集めた。



## (2) 応募及び審査結果

公募地域 (C 地区)	青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 合計 15 府県 (対象校は 313 校)	
応募校数	15 府県、130 校	
提供校数	15 府県、130 校	累計提供校数 (平成 5 年からの累計数) : 2,534 校

## (3) 自動車教育用教材活用報告書について

令和 5 年度教材提供を実施した高校を対象に、令和 6 年度における自動車教育用教材の活用状況を集約した。集約内容を技術教育部会で報告し、今後の活動の参考資料とした。

学習区分	No.	教材名	提供校数	活用生徒数
視聴覚教材	1	DVD 教材 (自動車の基礎・電気)	2	26
	2	DVD&デジビデオ (自動車のメカニズム)	0	0
	3	CD 教材① (ハイブリッド自動車と充電装置)	0	0
	4	CD 教材② (自動車の基礎とエンジンの作動)	5	193
	5	CD 教材③ (動力伝達・駆動・制御・走行装置の作動)	2	109
	6	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	9	403
	7	動く掛図 (4 サイクル・2 サイクル)	2	212
	8	4 サイクルガソリンエンジン説明模型	5	185
	9	ハイブリッドシステム説明模型	2	61
	10	駆動用ギヤ学習セット	1	25
	11	模型で学ぶセンサー技術 (自動走行)	1	44
	12	サスペンション模型	0	0
	13	四輪ホイールアライメント教材	1	20
初級教材	14	分解組立用エンジン (汎用 126cc)	40	1263
	15	分解組立用電子制御エンジン	5	216
	16	実習用工具セット	8	287
	17	実習用工具トルクレンチ	4	161
	18	急速充電器	3	104
	19	低床型手動ジャッキ 足踏付 2t	2	76
	20	簡易型エンジンスタンド	1	80
中級教材	21	トレーニングサーキット	1	3
	22	燃料電池実験キット	1	47
	23	燃料電池システム (エコラン大会用)	0	0
	24	ビデオスコープ	2	71
	25	灯火回路実習装置	1	15
上級教材	26	実車 (中古車)	5	218
	27	エンジン実習装置	2	70
	28	スキャンツール (外部故障診断装置)	5	237

## 2) 教員支援活動

教材提供活動の一環として、エンジン教材を提供した高校を対象に、授業での有効活用と教育効果を高めてもらうことを目的に「フォロー指導」を実施した。

- (1) 汎用エンジンを提供した以下 41 校に対し教材納入時に同エンジンメーカー専門家が指導教諭へ、教材活用方法や安全管理等に関するアドバイスを行った。(訪問説明：41 校)

No.	学校名	納品日	訪問日
1	青森県立弘前工業高等学校	9 月 18 日	10 月 30 日
2	青森県立八戸工業高等学校	9 月 18 日	11 月 19 日
3	青森県立むつ工業高等学校	9 月 18 日	11 月 19 日
4	岩手県立大船渡東高等学校	9 月 18 日	10 月 24 日
5	宮城県村田高等学校	9 月 18 日	10 月 23 日
6	宮城県古川工業高等学校 定時制	9 月 18 日	10 月 23 日
7	福島県立福島工業高等学校	9 月 18 日	10 月 22 日
8	福島県立清陵情報高等学校	9 月 18 日	10 月 22 日
9	福島県立会津工業高等学校	9 月 18 日	10 月 23 日
10	福島県立平工業高等学校	9 月 18 日	10 月 23 日
11	茨城県立玉造工業高等学校	9 月 24 日	10 月 4 日
12	茨城県立土浦工業高等学校	9 月 19 日	10 月 31 日
13	茨城県立取手第一高等学校	9 月 24 日	10 月 31 日
14	茨城県立総和工業高等学校	9 月 24 日	10 月 31 日
15	静岡県立藤枝北高等学校	9 月 19 日	11 月 6 日
16	静岡県立掛川工業高等学校	9 月 19 日	11 月 6 日
17	静岡県立浜松工業高等学校 定時制	9 月 19 日	11 月 6 日
18	岐阜県立岐南工業高等学校	9 月 24 日	11 月 11 日
19	関市立関商工高等学校	9 月 24 日	11 月 11 日
20	愛知県立一宮工科高等学校	9 月 24 日	10 月 29 日
21	愛知県立一宮起工科高等学校	9 月 24 日	10 月 29 日
22	愛知県立岡崎工科高等学校 定時制	9 月 19 日	11 月 15 日
23	名古屋たちばな高等学校	9 月 24 日	11 月 15 日
24	三重県立津工業高等学校	9 月 24 日	11 月 21 日
25	三重県立松阪工業高等学校	9 月 24 日	11 月 21 日
26	大阪府立淀川工科高等学校	9 月 20 日	10 月 17 日
27	大阪府立都島工業高等学校	9 月 19 日	10 月 17 日
28	大阪府立泉尾工業高等学校	9 月 20 日	10 月 22 日
29	大阪府立枚岡樟風高等学校	9 月 20 日	10 月 22 日
30	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	9 月 19 日	10 月 17 日
31	星翔高等学校	9 月 19 日	10 月 22 日
32	兵庫県立兵庫工業高等学校	9 月 20 日	10 月 25 日

33	兵庫県立武庫荘総合高等学校	9月19日	10月25日
34	兵庫県立神崎工業高等学校	9月20日	11月27日
35	兵庫県立小野工業高等学校	9月19日	11月27日
36	兵庫県立相生産業高等学校	9月19日	11月26日
37	兵庫県立淡路高等学校	9月19日	11月29日
38	尼崎市立尼崎双星高等学校	9月20日	10月25日
39	彩星工科高等学校	9月19日	11月13日
40	奈良県立御所実業高等学校	9月20日	10月23日
41	和歌山県立田辺工業高等学校	9月20日	11月27日

(2) 分解組立用電子制御エンジンを提供した以下9校に対し、教材納入時期に合わせて整備マニュアルと専門指導員による指導内容を撮影した「分解・組立解説DVD」を提供した。

No.	学校名	提供教材
1	八戸工業大学第一高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 2台
2	岩手県立北桜高等学校(工業校舎)	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 4台
3	静岡県立浜松城北工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 4台
4	滋賀県立長浜北星高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc 2台
5	大阪府立東住吉総合高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc 2台
6	兵庫県立篠山産業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 2台
7	兵庫県立飾磨工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc 2台
8	兵庫県立洲本実業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc 4台
9	和歌山県立和歌山工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc 4台

### 3) 協賛支援(助成金)活動

公募期間中に1件の申請(第66回全国自動車教育大会)があり、審査委員会で承認された。

### 4) 交流促進活動

贈呈式・教育懇談会は教材提供地域全15府県にて実施した。

従来ホテルで開催していた贈呈式を自動車整備の現場理解促進を図るため販売店6県、販売店研修会場1県にて開催、工場・店舗の見学会を実施した。参加した先生からは「冷暖房が完備され作業着も格好よく清潔感があり全くイメージと異なった」「処遇も改善されており、今後の進路指導に役立てたい」等、多くの気付きがあったとのことで、有意義な見学会となった。贈呈式・教育懇談会については、高等学校の先生方に対する有用な情報提供の機会とすべく、最適な開催場所についても現地の推進協議会と連携を図りながら検討していく。

地区	贈呈式会場
岐阜県	岐阜キャッスルイン
愛知県	NTP ビジネスプラザ
茨城県	茨城日産自動車本社
静岡県	グランディエールブケトウカイ
三重県	三重日産自動車本社
滋賀県	滋賀トヨタ本社
和歌山県	和歌山県立和歌山工業高等学校
宮城県	ホンダモビリティ東北本社
奈良県	奈良トヨタ本社
福島県	福自販会館
岩手県	ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING
青森県	青森県自動車会議所
大阪府	リーガロイヤルホテル大阪
京都府	京都トヨペット本社
兵庫県	ANA クラウンプラザホテル神戸

令和6年度 自動車教育用教材提供校一覧表

府県名		学校名	機材名	数 量
青森	1	青森県立弘前工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	2	青森県立八戸工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	3	青森県立むつ工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	4	弘前東高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	5	八戸工業大学第一高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン2台、他
	6	岩手県立盛岡工業高等学校	CD教材① (ハイブリッド自動車と充電装置)	1セット
岩手	2	岩手県立盛岡工業高等学校 定時制	CD教材② (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	3	岩手県立黒沢尻工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	4	岩手県立水沢工業高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	5	岩手県立大船渡東高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	6	岩手県立北桜高等学校 (工業校舎)	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン2台、他
	7	宮城県村田高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
宮城	2	宮城県登米総合産業高等学校	ビデオスコープ	1台
	3	宮城県黒川高等学校	実習用工具セット	4セット
	4	宮城県加美農業高等学校	燃料電池システム (エコラン大会用)	1セット
	5	宮城県石巻工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	6	宮城県古川工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	7	仙台市立仙台工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
福島	1	福島県立福島工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	2	福島県立二本松実業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	3	福島県立郡山北工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	4	福島県立清陵情報高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	5	福島県立白河実業高等学校	CD教材② (自動車の基礎とエンジンの作動)	1セット
	6	福島県立白河実業高等学校 塙校舎	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	7	福島県立会津工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	8	福島県立喜多方桐桜高等学校	急速充電器	1台
	9	福島県立平工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	10	福島県立小高産業技術高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
茨城	1	茨城県立高萩清松高等学校	DVD&デジビデオ (自動車のメカニズム)	1セット
	2	茨城県立水戸工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	3	茨城県立勝田工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	4	茨城県立玉造工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	5	茨城県立土浦工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	6	茨城県立取手第一高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	7	茨城県立八千代高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	8	茨城県立総和工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
静岡	1	静岡県立伊豆総合高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	2	静岡県立御殿場高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	3	静岡県立沼津工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	4	静岡県立富岳館高等学校	ハイブリッドシステム説明模型	1台
	5	静岡県立駿河総合高等学校	モーター基礎実験セット (自動車の電気・電子技術)	1セット
	6	静岡県立科学技術高等学校	燃料電池システム (エコラン大会用)	1セット
	7	静岡県立科学技術高等学校 定時制	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	8	静岡県立藤枝北高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	9	静岡県立島田工業高等学校	燃料電池システム (エコラン大会用)	1セット
	10	静岡県立掛川工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	11	静岡県立小笠高等学校	簡易型エンジンスタンド	4台
	12	静岡県立遠江総合高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	13	静岡県立浜松城北工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン4台、他
	14	静岡県立浜松工業高等学校	実車 (中古車・ヴィッツ)	1台
	15	静岡県立浜松工業高等学校 定時制	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン3台、他
	16	飛龍高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
岐阜	1	岐阜県立岐南工業高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	2	岐阜県立岐阜工業高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	3	岐阜県立岐阜工業高等学校 定時制	トレーニングサーキット	1台、他
	4	岐阜県立大垣工業高等学校	自動車の基礎・電気 (オンデマンド配信)	1セット
	5	岐阜県立多治見工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	6	岐阜県立中津川工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	7	岐阜県立高山工業高等学校	急速充電器	1台
	8	関市立関商工高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	9	岐阜第一高等学校	スキャンツール (外部故障診断装置)	1台
愛知	1	愛知県立愛知総合工科高等学校	自動車の基礎・電気 (オンデマンド配信)	1セット
	2	愛知県立名古屋工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	3	愛知県立瀬戸工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	4	愛知県立一宮工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	5	愛知県立一宮起工科高等学校	分解組立用エンジン (汎用126cc)	エンジン4台
	6	愛知県立愛西工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット

府県名		学校名	機材名	数 量
愛知	7	愛知県立豊田工科高等学校	スキャンツール（外部故障診断装置）	1台
	8	愛知県立岡崎工科高等学校	EVミニカート・キット Bコース	1セット
	9	愛知県立岡崎工科高等学校 定時制	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	10	愛知県立刈谷工科高等学校	EVミニカート・キット Bコース	1セット
	11	愛知県立豊橋工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	12	愛知県立豊橋工科高等学校 定時制	急速充電器	1台
	13	愛知県立豊川工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	14	名古屋市立工業高等学校	ハイブリッドシステム説明模型	1台
	15	名古屋たちばな高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
三重	16	名古屋工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	17	中部大学第一高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	1	三重県立四日市工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	2	三重県立四日市工業高等学校 定時制	実車（中古車・ヴィッツ）	1台
	3	三重県立四日市中央工業高等学校	模型で学ぶセンサー技術（自動走行）	1セット
	4	三重県立津工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	5	三重県立松阪工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	6	三重県立伊勢工業高等学校	モーター基礎実験セット（自動車の電気・電子技術）	1セット
	7	三重県立伊賀白鳳高等学校	実習用工具トルクレンチ（小X4）	1セット
滋賀	8	三重県立尾鷲高等学校	DVD&デジビデオ（自動車のメカニズム）	1セット
	1	滋賀県立彦根工業高等学校	スキャンツール（外部故障診断装置）	1台
	2	滋賀県立長浜北星高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン2台、他
	3	滋賀県立八幡工業高等学校	トレーニングサーキット	1台、他
京都	4	滋賀県立国際情報高等学校	実車（中古車・デミオ）	1台
	1	京都府立田辺高等学校	実車（中古車・ヴィッツ）	1台
大阪	2	京都府立工業高等学校	EVミニカート・キット Bコース	1セット
	1	大阪府立東淀工業高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	2	大阪府立淀川工科高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	3	大阪府立都島工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	4	大阪府立泉尾工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	5	大阪府立城東工科高等学校	4気筒4サイクル・エンジン 模型	1台
	6	大阪府立枚岡樟風高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	7	大阪府立布施工科高等学校	燃料電池実験キット	5セット
	8	大阪府立今宮工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	9	大阪府立東住吉総合高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン2台、他
	10	大阪府立堺工科高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	11	大阪府立和泉総合高等学校	EVミニカート・キット Aコース	1セット
	12	堺市立堺高等学校	実習用工具セット	4セット
	13	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	14	星翔高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
兵庫	1	兵庫県立兵庫工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	2	兵庫県立神戸工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	3	兵庫県立尼崎工業高等学校	実習用工具セット	4セット
	4	兵庫県立武庫荘総合高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	5	兵庫県立神崎工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	6	兵庫県立篠山産業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン2台、他
	7	兵庫県立東播工業高等学校	駆動用ギヤ学習セット	1セット
	8	兵庫県立西脇工業高等学校	CD教材②（自動車の基礎とエンジンの作動）	1セット
	9	兵庫県立小野工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	10	兵庫県立姫路工業高等学校	灯火回路実習装置	1セット
	11	兵庫県立飾磨工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン2台、他
	12	兵庫県立相生産業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	13	兵庫県立相生産業高等学校 定時制	自動車の基礎・電気（オンデマンド配信）	1セット
	14	兵庫県立淡路高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
	15	兵庫県立洲本実業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 1,300cc	エンジン2台、他
	16	神戸市立神戸工科高等学校	ビデオスコープ	1台
	17	尼崎市立尼崎双星高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
	18	彩星工科高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン3台、他
奈良	1	奈良県立奈良商工高等学校	自動車の基礎・電気（オンデマンド配信）	1セット
	2	奈良県立王寺工業高等学校	燃料電池実験キット	5セット
	3	奈良県立御所実業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台
和歌山	1	和歌山県立和歌山工業高等学校	分解組立用電子制御エンジン 660cc	エンジン4台、他
	2	和歌山県立箕島高等学校	燃料電池実験キット	5セット
	3	和歌山県立田辺工業高等学校	分解組立用エンジン（汎用126cc）	エンジン4台

＜府県別内訳＞

青森 5校 岩手 6校 宮城 7校 福島 10校 茨城 8校 静岡 16校 岐阜 9校  
愛知 17校 三重 8校 滋賀 4校 京都 2校 大阪 14校 兵庫 18校 奈良 3校

和歌山 3校  
合計：15府県 130校

## 2.調査研究事業

### 1) 調査活動

高校生・先生方のクルマに対する関心高揚や理解向上を図るべく、「交通」「環境」「交通安全」の3テーマを軸に、国内の交通調査等を実施し、情報収集とノウハウの蓄積に努めた。

#### <国内調査：2回実施>

第1回は、「2024年問題」で見込まれる物流への影響に対する輸送業者・トラックメーカーでの対応について、8月に神奈川県横浜市（いすゞ自動車）、9月に岐阜県大垣市（西濃運輸）にて取材を行った。

昨今のドライバー不足への対策として、モーダルシフト・ダブル連結トラック等の導入が注目されているものの、費用・関連インフラの整備など課題が多く、即効性は見込めない。ドライバー不足解消は、待遇・職場環境の改善がカギであり、業界を挙げて適正コストを運賃に反映させ、荷主・消費者から理解を得る取組が不可欠である。

第2回は、自動車交通量の抑制策、新たな移動手段にもなり得るコストシェア型ライドシェアサービスについて、1月に茨城県鹿嶋市（アディッシュプラス）にて取材を実施した。

公共交通機関が不足する地方や過疎地を対象とした公共ライドシェアは各地で運営されているものの、ドライバーが不足し、十分な解決策にはなっていない。今回取り上げたコストシェア型ライドシェアも含め、法律でライドシェアのドライバーへの報酬を禁じている以上、ドライバーの増加は見込めない。交通弱者救済の実現は、既存の交通事業者の妨げを危惧し、規制緩和に極めて慎重な当局の対応次第といえる。

#### 【調査の概要】

	第1回目	第2回目
日程	8/29（木）／9/4（水）	1/9（木）
目的	「2024年問題」で見込まれる物流への影響に対する輸送業者・トラックメーカーでの対応、今後の課題を調査	自動車交通量の抑制策、新たな移動手段にもなり得る“コストシェア型”ライドシェアサービス普及に向けた課題を調査
調査先	神奈川県／岐阜県	茨城県
調査の様子	 ▲片道輸送、低積載輸送等の極少化に向けたDXにも注力する西濃運輸(株)本社（岐阜県）	 ▲“notteco”サービスを運営するアディッシュプラス(株)鹿嶋BASE（茨城県）

\*当年度は海外調査（米国での自動運転車開発状況）を計画していたが、同国の政権移行に伴い関連当局等での取材受け入れが叶わず、実施を断念した。

### 2) 教材作成活動

#### ・調査報告動画の作成

国内調査に関する情報収集結果については、財団の調査普及部会や企画委員会・事業委員会などで報告するとともに、動画化した上で財団の動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に掲載した。

### 3. 研修事業

#### 1) 教員研修会活動

文部科学省や各教育委員会の後援及び各高等学校教育関係団体からの協賛を得て、「交通安全教育」や「自動車技術」を研修テーマに、JAEF 研修会（高等学校の教員を対象に財団が主催する研修会）を開催した。

栃木・静岡・東京の順に 3 会場にて開催した研修会には、全国より高等学校の教員等 92 名が参加し、いずれも参加者から高い評価をいただいた。（各回参加者アンケートで 5 段階評価のうち「大変良い」「良い」の上位合計が講演で 97%見学・実習で 98%と前年を上回った）

#### 【令和 6 年度 J A E F 研修会開催実績】

実施回	日程・会場	テーマと研修内容	人数
第 1 回	7 月 30 日（火） 「交通教育センター もてぎ」 ＜栃木県茂木町＞	－交通安全教育に資する講演と交通安全トレーニング実習－ 【講演】 「生徒指導に資する交通安全教育手法」 講師：交通教育センターもてぎ主幹 島倉 勝氏 【実習・見学】 安全運転実習／Honda Collection Hall 見学 他	37 名
第 2 回	8 月 7 日（水） 「スズキ（株）」 ＜静岡県浜松市・ 湖西市＞	－軽自動車の歴史と技術開発について学ぶ－ 【講演】 ①「軽自動車の歴史と技術開発」 講師：スズキ株式会社 商品企画本部 部長 河村 恭博氏 ②「インドでのバイオガス事業の紹介」 講師：スズキ株式会社 渉外広報本部 部長 小島 洋一氏 【見学】 スズキ歴史館／湖西工場	35 名
第 3 回	8 月 9 日（水） 「日本自動車会館」 ＜東京都港区＞	－自転車の「交通反則通告制度（青切符）」と 「交通安全教育ガイドライン」の方向性－ 【講演】 ①「自転車 16 歳以上対象 交通反則通告制度」について ②「交通安全教育ガイドライン」の方向性 ③意見交換 講師：NP0 法人自転車活用推進研究会 理事長 小林 成基 氏	20 名

#### 2) 講師派遣活動

学校関係団体が主催する研修会及び高等学校が生徒を対象に開催する講習会等への講師派遣活動について、例年どおり全国公募を行った。講師派遣メニューは自動車技術教育と交通安全教育からなる 18 メニューを用意した。環境技術と交通安全に新たなメニュー（右に掲載のメニュー一覧の⑩と⑬）を追加した。開催回数は 363 件（同+24 件）でコロナ禍前の過去最多に並んだ。参加者は 105,605 名（+8,571 名）となった。

363 件の内訳は、区分別に「自動車技術」60 回（過去最多）、「環境・交通技術」5 回、「交通安全」298 回であった。

講師は研修テーマに合わせて関係団体・企業の専門家を派遣しており、日本自動車連盟各支部、日本損害保険協会各支部、各地域の自動車整備振興会や自動車販売会社といった地元講師の皆様にご協力いただいた（詳細は【資料 1】を参照）。



【令和6年度講師派遣メニューと派遣件数】

区分	ジャンル	研修メニュー		派遣講師 (派遣団体・企業)	派遣件数	参加人数
自動車技術教育	自動車の最新技術	①	トヨタ ハイブリッド車について	トヨタ系ディーラー	13	400
		②	日産 電気自動車について	日産系ディーラー	24	1,015
		③	ホンダ e:HEV について	ホンダ系ディーラー	4	145
		④	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	マツダ系ディーラー	12	378
		⑤	三菱 EV・PHEV を用いた持続可能な社会に向けて	三菱系ディーラー	6	180
	自動車の整備技術	⑥	ガソリンエンジンの分解・組立	自動車整備振興会	0	0
		⑦	トランスミッションの分解・組立	自動車整備振興会	0	0
		⑧	電子制御エンジンの構造と点検・整備	自動車整備振興会	1	20
自動車技術教育 計					60	2,138
交通安全教育	環境技術	⑨	地球温暖化防止とモビリティ技術 (電動車の仕組みと充電・水素インフラ)	自動車関係団体他	0	0
		⑩	地球温暖化防止とモビリティ技術(CN 社会へ 貢献するモビリティの最新情報)	自動車関係団体他	4	97
	交通技術	⑪	自動運転技術が拓く未来と人との協調	自動車関係団体他	1	40
		⑫	自動運転と倫理法律問題	自動車関係団体他	0	0
	交通安全	⑬	ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	87	33,156
		⑭	夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	21	3,110
		⑮	ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	166	59,448
		⑯	交通事故を起こして問われる責任と 損害保険の役割	日本損害保険協会	7	2,580
		⑰	「自転車」を取り巻くリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	15	5,006
		⑱	二輪車(バイク)の交通安全	日本二輪車 普及安全協会	2	30
交通安全教育 計					303	103,467
全体 合計					363	105,605

#### 4. 普及啓発事業

##### 1) 普及啓発活動

###### (1) 「自動車技術 講師派遣」紹介動画の制作・公開

当年度の重点取組「自動車技術教育支援活動の抜本的強化」の一環として、「自動車技術 講師派遣」の申込・活用促進を図るべく、同 講師派遣の紹介動画を制作・公開した。



▲「自動車技術 講師派遣」紹介動画より

###### (2) 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』でのコンテンツ掲載、同サイトの告知活動

###### ①新規コンテンツの公開

クルマに関する基礎知識や国内の最新交通事情などをテーマとする動画を財団ウェブサイトにて公開。当年度は財団で実施した国内調査結果の他、クルマの安全技術・運転支援技術、商用車の電動化などをテーマとした計 13 本のコンテンツを制作し、公開した。

###### 【令和6年度『早わかり！クルマ塾』コンテンツ掲載実績】

		タイトル	公開日
まーなクビ舎の	<1>	『社会と自動車の調和 [2] 交通事故死者ゼロ社会を目指して』	R6. 5. 9
	<2>	『走行中のワイヤレス充電は電気自動車の普及を促進するか？』	R6. 4. 18
「クルマ何でも情報館」	<3>	『消費者の生活も大きく変える？ 物流の『2024年問題』』	R6. 12. 25
	<4>	『昔から安全を大切にしたSUBARU（歴史編）』	R7. 2. 7
	<5>	『SUBARUってどんな会社？ 安全で大切にしているところは？（聴く編 第1回）』	R7. 2. 13
	<6>	『SUBARUの運転支援技術って？ アイサイトは自動運転技術になる？（聴く編 第2回）』	R7. 2. 19
	<7>	『安全な運転をアシストする『アイサイトX』の代表機能（乗る編 第1回）』	R7. 2. 19
	<8>	『いざという時に介入する 事故を抑制する技術（乗る編 第2回）』	R7. 2. 19
	<9>	『いすゞ自動車ってどんな会社？ 商用車の電動化や自動化とは？（聴く編 第1回）』	R7. 2. 25
	<10>	『いすゞ自動車ってどんな会社？ 商用車の電動化や自動化とは？（聴く編 第2回）』	R7. 2. 25
	<11>	『いすゞの電動化車両に試乗！ 小型電気トラック『エルフ EV』（乗る編 第1回）』	R7. 3. 4
	<12>	『いすゞの電動化車両に試乗！ 大型燃料電池車『GIGA FUEL CELL』（乗る編 第2回）』	R7. 3. 11
	<13>	『いすゞの電動化車両に試乗！ 大型路線電気バス『ERGA EV』（乗る編 第3回）』	R7. 3. 18

②一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム（PLIJ）」との連携

同法人が令和 5 年 4 月より運営を開始した教材・研修等の情報を紹介するポータルサイトにて、財団の動画を始めその他活動情報を掲載。同サイトから当財団 HP へのリンクを可能としている。当年度は計 22 件を掲載。



▲ 「PLIJ STEAM Learning Community」トップページ

③財団支援活動・イベント各参加者向け PR リーフレットを制作、配布

「交通安全 講師派遣」を利用、或いは「教材贈呈式」・「JAEF 研修会」に出席した先生のニーズに適したリーフレットを個別に制作し配布した。



▲ 「教材贈呈式」参加者を対象に作成・配布した PR リーフレット

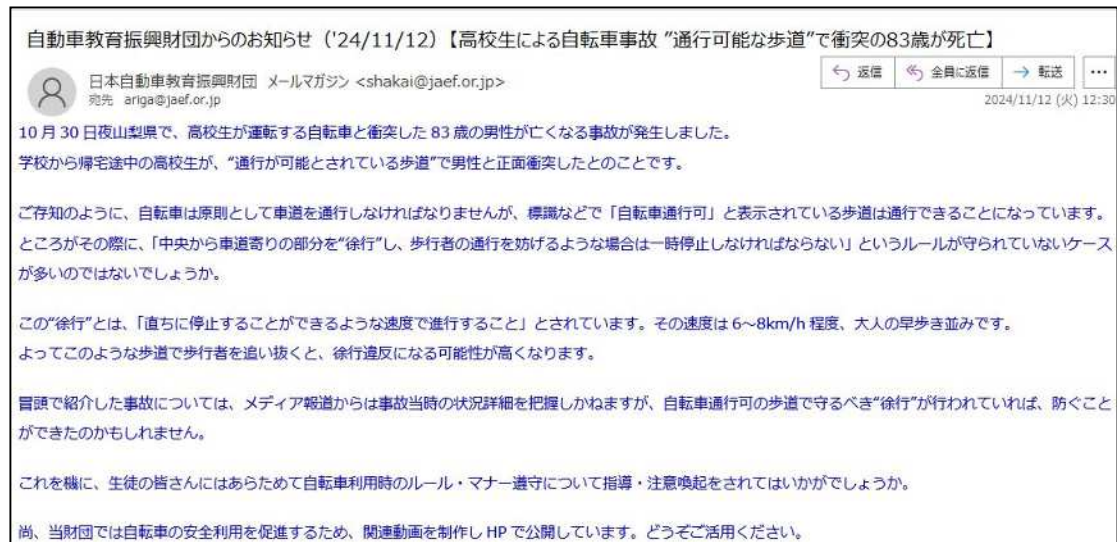
④ダイジェスト版制作、YouTube への投稿

各コンテンツの認知向上・視聴促進策を図るべく、先述の公開動画のダイジェスト版を制作、YouTube への投稿を実施。

### (3) メールマガジンによる情報提供

先生等への情報提供活動として、メールマガジンを配信。当財団の活動状況、クルマや交通安全に関するトピックス等をテーマに、当年度は合計 50 回発信した。

また、当財団活動に対する認知・理解度を更に高めるべく、引き続きメールマガジン登録者数の拡大に取り組んだ。「講師派遣」「技術教材提供」などへの申込時に、メールマガジンへの登録承諾のデフォルト化により、3 月末までの累計登録者数が 1,148 と、この一年間で 18%増加した。



▲メールマガジン画面

### (4) 先生方に近接した機会での告知・活用促進

従来の財団イベント（JAEF 研修会、教材贈呈式）での情報提供に加え、令和 6 年度全国公民科・社会科教育研究会 全国大会の会場ステージにて当財団支援の活用を訴求した。



▲令和 6 年度全国公民科・社会科教育研究会 全国大会 説明用リーフレット



## 2) 広域普及啓発活動

### (1) SNS による情報発信

自動車技術講師派遣を含め、当財団イベント等の情報を関連画像と共に随時投稿した。当年度の投稿回数は、フェイスブック 66 回、「X」(旧ツイッター) 65 回。



▲SNS 投稿画面 (左：フェイスブック、右：”X”)

### (2) 「ニュースリリース」の発行

報道機関向けのニュースリリース『JAEF NEWS』を発行した (年間 21 回)。

#### 【『JAEF NEWS』発行状況】

番 号	発 行 日	タイトルと内容
No. 809	R6. 6. 12	令和 6 年度定時評議員会を開催
No. 810	R6. 7. 9	「令和 6 年度 第 1 回 J A E F 研修会」を開催
No. 811	R6. 7. 17	「令和 6 年度 第 2 回 J A E F 研修会」を開催
No. 812	R6. 7. 19	「令和 6 年度 第 3 回 J A E F 研修会」を開催
No. 813	R6. 8. 22	令和 6 年度 自動車技術教育用教材の提供校を決定
No. 814	R6. 10. 9	岐阜県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 815	R6. 10. 10	愛知県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 816	R6. 10. 11	茨城県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 817	R6. 10. 11	静岡県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 818	R6. 10. 18	三重県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 819	R6. 10. 21	滋賀県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 820	R6. 10. 22	和歌山県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 821	R6. 10. 25	宮城県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 822	R6. 10. 31	奈良県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 823	R6. 11. 1	福島県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 824	R6. 11. 1	岩手県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 825	R6. 11. 5	青森県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 826	R6. 11. 13	大阪府にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 827	R6. 11. 21	京都府にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 828	R6. 11. 25	兵庫県にて自動車技術教育用教材の贈呈式を開催
No. 829	R7. 3. 19	第 3 3 回理事会を開催

### (3) 『JAEF REPORT』の発行

関係者向けの財団事業報告紙として『JAEF REPORT』(A4判・4頁・カラー)を定期的(4・7・10・1月の年4回)に発行した。直近の財団活動実績や今後の行事予定などを、財団関係者へ分かりやすく伝える情報媒体として定着している。

また、『JAEF REPORT』をホームページでも公開し、財団活動の幅広い理解促進を図った。

### 【『JAEF REPORT』発行状況】

番 号	発行日	タイトル・内容
No.261	R6. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 第31回理事会を開催、令和6年度事業計画・予算を承認</li> <li>◆ 令和6年度自動車教育用教材の公募予定、“電動化”関連教材を追加</li> <li>◆ 令和5年度講師派遣実績</li> <li>◆ 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に11本のコンテンツ掲載</li> </ul>
No.262	R6. 7. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 理事会、評議員会を実施</li> <li>◆ 令和6年度自動車技術教育用教材提供 応募状況(中間報告)</li> <li>◆ 41都道府県の研修会(202件)に講師を派遣</li> <li>◆ 令和6年度JAEF研修会の参加者を募集</li> <li>◆ 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に2本のコンテンツ掲載</li> </ul>
No.263	R6.10. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 令和6年度 自動車教育用教材の提供対象校・内容を決定</li> <li>◆ 令和6年度 JAEF研修会を開催</li> <li>◆ 22道府県の研修会(58件)に講師を派遣</li> <li>◆ 自動車技術講師派遣 紹介動画を制作、公開</li> <li>◆ 自動車技術教育イベントを支援</li> </ul>
No.264	R7. 1. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新年のご挨拶</li> <li>◆ 15府県で教材贈呈式、交流促進活動を実施</li> <li>◆ 令和7年度 講師派遣募集開始、自動車技術分野に新メニュー設定</li> <li>◆ 各部会・委員会にて 令和6年度 上期活動状況を報告</li> <li>◆ 29都道府県の研修会(73件)に講師を派遣</li> <li>◆ 動画学習サイト『早わかり！クルマ塾』に国内調査報告動画を掲載</li> </ul>



(4) 広報媒体（ホームページ、『JAEF 支援メニュー』）の充実・活用

広域普及媒体であるホームページや JAEF 支援メニューにより、財団事業の周知活動を実施。令和 5 年 12 月に全面改訂したホームページでは、年間を通じてタイムリーにコンテンツを更新した。



▲ホームページ：トップページでは破線部のコンテンツを財団にて随時掲載・更新

#### 【Ⅳ】支援活動

##### 1. 自動車技術教育関連イベントへの支援

7 件の依頼があり天候不順で 1 件中止以外はすべてに支援を行った。

	令和 6 年度イベント	開催日	開催地	主催者	支援内容
全国 イ ベ ン ト	第 31 回全国ソーラーラジコンカーコンテスト in 白山	8 月 1 日 ～3 日	石川	全国ソーラーラジコンカーコンテスト実行委員会	表彰状 盾・商品
	第 24 回高校生ものづくりコンテスト全国大会	11 月 9 日 ～10 日	宮城	全国工業高等学校長協会	表彰状 盾
	ジャパンマイコンカーラリー2025 全国大会	12 月 27 日 ～28 日	大阪	全国工業高等学校長協会	協賛金
県別 イ ベ ン ト	令和 6 年度三重県工業高校生フェア	8 月 24 日	三重	三重県高等学校工業教育県協会	協賛金
	第 25 回沖縄県高等学校エコデンレース大会	10 月 22 日	沖縄	沖縄工業教育研究会	協賛金 表彰状
	2024 長野県高校生交通安全 CM コンテスト	11 月 30 日	長野	長野県交通事故ゼロチャレンジ実行委員会	協賛金

第 32 回静岡高校生エコラン大会は天候不順のため中止。



## 〔V〕組織運営

### 1. 監事・評議員の異動

評議員の任期満了に伴い、令和6年6月11日（火）開催の第13回定時評議員会において評議員の選任が行われた。その結果、新たに21名の評議員が選任された（重任評議員16名、新任評議員5名）。

なお、第13回定時評議員会終了後に、所属団体における異動による退任（理事2名）が発生したため、決議の省略による理事会並びに評議員会を開催し、後任の理事の一部選任が行われた。

### 2. 委員会・部会の効率的な運営

委員会・部会の運営にあたっては、その機能を十分に発揮できるよう心がけた。

会議の開催状況は、企画委員会3回、審査委員会1回、事業委員会2回、技術教育部会4回、調査普及部会2回、研修部会2回となっている。

### 3. 経理・財務の状況

主な収入は関係団体からのご支援による賛助会費及び寄附金と、国債並びに仕組預金等の運用による基本財産運用益である。令和6年度も賛助会費の一部減額が継続するも、基本財産運用益の増加等により当初計画に対し約79万円の増収となった。支出面においては、技術教育支援事業の継続的な取り組み強化（教材提供で過去最多の提供校数を記録）等に伴う増加要素があったが、事業運営の効率化及び当初計画していた活動の一部中止による費用節減で当初計画を約14万円下回った。

## 〔VI〕庶務事項

### 1. 事務局体制

・令和7年3月31日現在の業務分担は以下のとおりである。

役 職	氏 名	担当業務	担当会議
専務理事	上橋 義弘	事業統括、事務局統括 (調査研究事業)	理事会・評議員会 企画委員会、事業委員会
常務理事	有賀 潔	調査研究事業、普及啓発事業、 経理・財務、システム	調査普及部会 (理事会・評議員会)
部 長	山本 実	技術教育支援事業	審査委員会、技術教育部会
部 長	桐山 功	研修事業 総務	研修部会 (理事会・評議員会)
職 員	下野 尚美	(経理、研修)	
職 員	ロジェ聖子	(技術教育、研修、総務) (調査、普及啓発)	(企画委員会、事業委員会) (審査委員会、技術教育部会) (研修部会、調査普及部会)

※ ( ) 内は副担当としてのアシスト業務を示す

### 2. 賛助会費・寄附金の状況

・令和6年度の賛助会費・寄附金は以下の通りである。

＜賛助団体名＞	＜金 額＞
・(一社) 日本自動車工業会	31,000 千円
・(一社) 日本損害保険協会	2,400 千円
・(一社) 日本自動車販売協会連合会	4,800 千円
・(一社) 日本自動車連盟	1,200 千円
・(一社) 日本自動車会議所	600 千円
・(一社) 全国軽自動車協会連合会	1,200 千円
・(一社) 日本中古自動車販売協会連合会	600 千円
・(一社) 日本自動車整備振興会連合会	600 千円
・(一財) 自動車検査登録情報協会	600 千円
合 計	43,000 千円

＜寄附団体名＞	＜金 額＞
・(一社) 日本自動車機械工具協会	6,000 千円
合 計	6,000 千円

以 上

【資料1-1】 令和6年度講師派遣実績（自動車技術）

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ	講師派遣会社	担当 (敬称略)	受講人数
1	富山	富山県立高岡工芸高等学校	5/17	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ富山	田村美香	29
2	静岡	静岡県立島田工業高等学校	6/6	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	ネットトヨタ静浜(株)	遠藤大喜	50
3	兵庫	兵庫県立洲本実業高等学校	6/12	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	兵庫トヨタ自動車(株)	金井隆行	50
4	神奈川	神奈川県立向の岡工業高等学校	6/17	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	東日本三菱自動車販売(株)	渡辺朋栄	40
5	静岡	静岡県立島田工業高等学校	6/21	日産自動車 電気自動車について	静岡日産自動車(株)	稲葉豊治	50
6	兵庫	兵庫県立洲本実業高等学校	6/28	日産自動車 電気自動車について	兵庫日産(株)	土井広行	38
7	北海道	北海道富良野緑峰高等学校	6/28	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	北海道マツダ販売(株)	氏家哲也	50
8	愛知	愛知県立守山高等学校	7/5	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	NTP名古屋トヨペット(株)	青山隆明	19
9	栃木	栃木県立小山北桜高等学校	7/12	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	栃木トヨペット(株)	古口悟	17
10	兵庫	兵庫県立姫路工業高等学校	7/17	日産自動車 電気自動車について	兵庫日産(株)	土井広行	75
11	北海道	北海道滝川工業高等学校	7/18	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	北海道三菱自動車販売(株)	渡辺朋栄	45
12	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/23	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	宮城トヨタ自動車(株)	斉藤正浩	20
13	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/24	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ宮城	安部典昭	20
14	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/25	本田技研工業 e:HEVについて	(株)ホンダモビリティ東北	菊池聡	20
15	宮城	宮城県加美農業高等学校	7/29	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)東北マツダ	多田大介	20
16	宮城	宮城県農業高等学校	7/29	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ宮城	安部典昭	40
17	宮城	宮城県加美農業高等学校	8/5	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	宮城三菱自動車販売(株)	石川栄好	20
18	愛知	名古屋工業高等学校	8/19	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	西日本三菱自動車販売(株)	渡辺朋栄	10
19	沖縄	沖縄県工業教育研究会自動車部会	8/23	自動車整備振興会 電子制御エンジンの構造と点検・整備	沖縄県自動車整備振興会	仲程智武	20
20	奈良	奈良県立奈良商工高等学校	9/13	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ奈良	松井健治	30
21	奈良	奈良県立奈良商工高等学校	9/20	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ奈	松井健治	30
22	富山	富山県立高岡工芸高等学校	9/26	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	トヨタカローラ富山(株)	軒田課長	9
23	神奈川	神奈川県立川崎工科高等学校	9/28	日産自動車 電気自動車について	日産神奈川販売(株)	木ノ下晃一	24
24	神奈川	神奈川県立川崎工科高等学校	9/28	日産自動車 電気自動車について	日産神奈川販売(株)	木ノ下晃一	24
25	埼玉	埼玉県立春日部工業高等学校	10/1	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)関東マツダ	清水政義	33
26	埼玉	埼玉県立春日部工業高等学校	10/3	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)関東マツダ	清水政義	33
27	富山	富山県高等学校教育研究会工業部	10/3	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ富山	田村美香	150
28	愛知	愛知県立一宮起工科高等学校	10/7	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	(株)ATグループ	斎藤達矢	45
29	青森	弘前東高等学校	10/9	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	青森トヨタ自動車(株) ・ネットトヨタ青森(株)	黒石祐	27
30	青森	弘前東高等学校	10/11	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)マツダアンフィニ青森	小山田裕美	27
31	新潟	新潟県立新潟県央工業高等学校	10/17	日産自動車 電気自動車について	日産プリンス新潟販売(株)	川内克幸	120
32	栃木	栃木県立小山北桜高等学校	10/18	日産自動車 電気自動車について	栃木日産自動車販売(株)	菅野好一	17
33	青森	弘前東高等学校	10/23	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	青森三菱自動車(株)	澤谷昌代司	27
34	青森	弘前東高等学校	10/25	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ弘前	対馬昭人	27
35	埼玉	埼玉県立いずみ高等学校	10/30	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	トヨタカローラ埼玉(株)	齊藤祐輔	36
36	静岡	静岡県立遠江総合高等学校	10/30	日産自動車 電気自動車について	日産プリンス静岡販売(株)	河原直之	69
37	群馬	群馬県立桐生工業高等学校	11/1	本田技研工業 e:HEVについて	(株)ホンダカーズ群馬	阿久津孝治	40
38	群馬	群馬県立桐生工業高等学校	11/6	本田技研工業 e:HEVについて	(株)ホンダカーズ群馬	阿久津孝治	40
39	山口	山口県立田布施農工高等学校	11/11	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	山口マツダ(株)	岡崎誠治	30
40	福島	福島県立二本松実業高等学校	11/11	日産自動車 電気自動車について	福島日産自動車(株)	小澤裕次郎	27
41	山口	山口県立防府商工高等学校	11/14	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	山口マツダ(株)	岡崎誠治	40
42	山口	山口県立防府商工高等学校	11/14	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	山口マツダ(株)	岡崎誠治	40
43	神奈川	神奈川県立川崎工科高等学校	11/22	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	神奈川トヨタ自動車(株)	宮谷真樹	45
44	広島	広島市立広島工業高等学校	11/22	三菱自動車 EV・PHEVを用いた持続可能な社会に向けて	広島三菱自動車販売(株)	武澤大輝	38

【資料1-1】令和6年度講師派遣実績（自動車技術）

No.	都道府県	主 催	開催日	テーマ	講師派遣会社	担当 (敬称略)	受講人数
45	愛知	愛知県立一宮起工科高等学校	11/25	本田技研工業 e:HEVについて	(株)ホンダモビリティ中部	熊崎智之	45
46	群馬	群馬県立富岡実業高等学校	11/27	日産自動車 電気自動車について	群馬日産自動車(株)	杉澤秀文	40
47	富山	富山県立高岡工芸高等学校	12/5	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)北陸マツダ	大西隆	20
48	東京	東京都自動車教育研究会	12/6	日産自動車 電気自動車について	日産東京販売(株)	安井義幸	20
49	長崎	長崎県立佐世保工業高等学校	12/9	日産自動車 電気自動車について	長崎日産自動車(株)	草野孝宏	50
50	長崎	長崎県立佐世保工業高等学校	12/12	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	トヨタカローラ長崎(株)	松永佑太郎	45
51	宮城	宮城県村田高等学校	1/10	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ宮城	安部典昭	3
52	青森	弘前東高等学校	1/16	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	青森トヨタ自動車(株) ・ネットヨタ青森(株)	黒石祐	27
53	愛知	愛知県立岡崎工科高等学校 定時制	1/17	トヨタ自動車 ハイブリッド車について	NTP名古屋トヨペット(株)	青山隆明	10
54	青森	弘前東高等学校	1/20	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ弘前	対馬昭人	27
55	神奈川	神奈川県立川崎工科高等学校	1/30	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	(株)関東マツダ	澤朋子	21
56	愛知	愛知県立岡崎工科高等学校	2/7	日産自動車 電気自動車について	三河日産自動車(株)	富田真仁	25
57	東京	東京都立墨田工科高等学校	2/10	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	東京マツダ販売(株)	高村謙	34
58	東京	東京都立墨田工科高等学校	2/10	マツダ 電動化技術によるクルマの楽しさと環境の両立	東京マツダ販売(株)	高村謙	30
59	宮城	宮城県石巻工業高等学校	3/17	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ宮城	安部典昭	40
60	宮城	宮城県石巻工業高等学校	3/21	日産自動車 電気自動車について	(株)日産サティオ宮城	安部典昭	40

合計人数 2138

【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
1	鹿児島	鹿児島城西高等学校	4/4	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	100
2	岐阜	岐阜県立岐阜高等学校	4/10	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	岐阜 浅地 茂樹	1080
3	大阪	大阪府立茨木工科高等学校	4/10	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	近畿 前原 利生	45
4	群馬	群馬県立大泉高等学校	4/10	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	群馬 金子 公一	450
5	宮城	宮城県多賀城高等学校	4/10	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	宮城 三部 司	280
6	埼玉	埼玉県立浦和商業高等学校	4/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	埼玉 宇木 一志	820
7	大阪	宣真高等学校	4/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	大阪 町田 英之	1450
8	鹿児島	鹿児島修学館中学高等学校	4/10	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	300
9	青森	青森県立野辺地高等学校	4/10	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	青森 中園 浩二	100
10	北海道	北星学園大学附属高等学校	4/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	280
11	北海道	北海道剣淵高等学校	4/11	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	北海道 金子 佐名枝	60
12	大阪	大阪府立三島高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	大阪 町田 英之	1360
13	神奈川	横浜市立戸塚高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	神奈川 和田 俊司	50
14	熊本	熊本県立宇土中・宇土高等学校	4/11	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	熊本 緒方 将	720
15	千葉	千葉県立横橋高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	千葉 谷 宗一郎	240
16	岩手	岩手県立花泉高等学校	4/11	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	100
17	宮城	宮城県松山高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	60
18	兵庫	兵庫県立鳴尾高等学校	4/11	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	兵庫 福井 剛	320
19	静岡	静岡県立小山高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	静岡 松田兼宏	300
20	宮城	宮城県工業高等学校	4/11	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	宮城 三部 司	240
21	秋田	秋田県立秋田明徳館高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	340
22	高知	高知市立高知商業高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	高知 森 勇人	280
23	高知	高知市立高知商業高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	高知 森 勇人	280
24	高知	高知市立高知商業高等学校	4/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	高知 森 勇人	280
25	北海道	北海高等学校	4/12	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	1250
26	兵庫	西宮市立西宮東高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	兵庫 頭井 与志範	300
27	秋田	秋田県立大曲農業高等学校太田分校	4/12	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	30
28	岩手	岩手県立花巻北高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	240
29	静岡	静岡県立榛原高等学校	4/12	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	静岡 松田 兼宏	160
30	福島	福島県立福島明成高等学校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	福島 田代 秀之	540
31	三重	三重県立宇治山田商業高校	4/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	三重 水井陽一	160
32	三重	三重県立相可高等学校	4/12	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	三重 水井 陽一	580
33	広島	広島県立広島工業高等学校	4/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	広島 伊藤 穰爾	250
34	北海道	北海道弟子屈高等学校	4/16	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	釧路 澤田 基志	70
35	静岡	浜松聖星高等学校	4/16	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	静岡 望月 滋	200
36	大阪	大阪府立箕面東高等学校	4/16	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	大阪 町田 英之	300
37	兵庫	兵庫県立阪神昆陽高等学校②	4/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	兵庫 福井 剛	80
38	兵庫	兵庫県立阪神昆陽高等学校①	4/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	兵庫 福井 剛	200
39	北海道	北海道遠別農業高校	4/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	60
40	宮崎	宮崎県立福島高等学校	4/16	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	宮崎 川野 修	190
41	北海道	北海道釧路北陽高等学校	4/17	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	北海道 古川 浩	200
42	滋賀	滋賀県立大津清陵高等学校（昼間部）	4/17	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	滋賀 廣瀬 隆一	150
43	岩手	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	4/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	130
44	秋田	秋田県立比内支援学校	4/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	120
45	青森	青森県立青森東高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	青森 三上 順平	640

【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ◇：交通安全	講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
46	宮城	東北学院榴ヶ岡高等学校	4/18	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	850
47	岐阜	岐阜県立羽島北高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 大嶽 悟	720
48	岐阜	岐阜県立各務原高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 中村 眞治	622
49	福島	福島県立須賀川桐陽高等学校	4/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	240
50	徳島	徳島県立吉野川高等学校	4/18	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	徳島 角田 義道	300
51	鹿児島	鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	95
52	岐阜	岐阜県立東濃実業高等学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	岐阜 大嶽 悟	580
53	北海道	北海道函館西高等学校	4/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	函館 中者 善元	700
54	群馬	群馬県立伊勢崎清明高等学校	4/19	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	634
55	岩手	岩手県立盛岡第三高等学校	4/19	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 川崎 幸一	810
56	福島	福島県立清陵情報高等学校	4/19	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 斎藤 桂司	600
57	鹿児島	鹿児島高等学校	4/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	1600
58	北海道	北海道千歳高等学校	4/22	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	340
59	秋田	秋田県立栗田支援学校	4/23	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	60
60	岩手	岩手県立久慈工業高等学校	4/23	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	70
61	茨城	霞ヶ浦高等学校	4/23	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	1200
62	宮城	宮城県立支援学校小牛田高等学園	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 渋谷 輝明	72
63	島根	島根県立出雲商業高等学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	島根 伊藤 昇	480
64	京都	京都府立西城陽高等学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	京都 桃谷 広明	520
65	秋田	秋田県立秋田西高等学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	500
66	大分	大分県立大分豊府中学校・高等学校	4/24	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	大分 岩元 幹太	480
67	大分	大分県立大分豊府中学校・高等学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大分 岩元 幹太	1240
68	秋田	秋田県立栗田支援学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	40
69	北海道	北海道枝幸高等学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 鶴間 紀彦	44
70	福島	福島県立本宮高等学校	4/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	61
71	青森	青森県立青森高等学校	4/25	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	240
72	茨城	茨城県立石下紫峰高等学校	4/25	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	160
73	富山	富山県立富山北部高等学校	4/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山 林 宏二	240
74	富山	富山県立富山東高等学校	4/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山 林 宏二	720
75	福島	福島県立郡山高等学校	4/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	480
76	大阪	大阪府立福泉高等学校	4/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 中植 啓伸	350
77	福島	福島県立会津工業高校等学校	4/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	600
78	鳥取	鳥取県立鳥取湖陵高等学校	4/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	鳥取 為廣 光章	500
79	秋田	聖霊女子短期大学付属高等学校	4/26	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	450
80	佐賀	佐賀県立唐津特別支援学校	4/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	佐賀 山崎 敬介	70
81	埼玉	大川学園高等学校	4/26	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉 横田 豪	20
82	新潟	新潟県立正徳館高等学校	4/26	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	新潟 廣川 尚樹	60
83	奈良	奈良県立五條高等学校	4/27	◇二輪車（バイク）の交通安全～高校生のためのSafety Riding	日本二輪車普及安全協会	近畿 上田正治	20
84	北海道	北海道釧路明輝高等学校	4/30	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	釧路 澤田 基志	200
85	秋田	秋田市立御所野学院高等学校	5/1	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	190
86	静岡	静岡県立静岡北特別支援学校	5/2	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	静岡 原 康之	40
87	青森	青森県立青森北高等学校	5/2	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	600
88	岐阜	岐阜県立岐阜工業高等学校	5/2	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	岐阜 中村 眞治	80
89	静岡	浜松聖星高等学校	5/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	静岡 原 康之	200
90	大阪	箕面学園高等学校	5/7	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	大阪 町田 英之	570

【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ◇：交通安全	講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
91	福島	福島県立磐城桜が丘高等学校	5/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	240
92	北海道	北海道苫小牧南高等学校	5/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	450
93	沖縄	沖縄県立西崎特別支援学校	5/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	沖縄 新里 稔	60
94	宮城	宮城県泉高等学校	5/8	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 三部 司	260
95	滋賀	滋賀県立八幡商業高等学校	5/8	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	滋賀 廣瀬 隆一	240
96	宮城	宮城県水産高等学校	5/8	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	230
97	鹿児島	鹿児島県立山川高等学校	5/8	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	九州 町田 正志	80
98	広島	広島県立廿日市高等学校	5/8	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	広島 西原 大介	560
99	東京	東京都立小金井工科高等学校 定時制	5/8	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	東京 由水 雅也	60
100	秋田	秋田県立雄物川高等学校	5/8	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	100
101	埼玉	武南高等学校	5/8	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉 横田 豪	500
102	大阪	大阪府立富田林高等学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 町田 英之	1240
103	愛知	愛知県立安城南高等学校	5/9	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	920
104	愛知	愛知県立安城農林高等学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	240
105	福島	福島県立西郷支援学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	50
106	福岡	福岡県立明善高等学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 田中 至道	840
107	群馬	桐生市立商業高等学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 田中 政彦	40
108	福島	福島県立白河実業高等学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	550
109	福島	桜の聖母学院高等学校	5/9	◇交通事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	東北 佐久間 進	105
110	秋田	秋田県立本荘高等学校	5/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	584
111	北海道	北海道厚真高等学校	5/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 日下部 英明	80
112	福島	福島県立福島南高等学校	5/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	468
113	山梨	山梨県立甲府第一高等学校	5/10	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	山梨 高木 孝	670
114	宮城	宮城県名取北高等学校	5/10	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	宮城 三部 司	700
115	愛知	愛知県立城北つばさ高等学校 夜間部	5/10	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	愛知 寺本 浩	100
116	北海道	北海道上富良野高等学校	5/10	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	旭川 鶴間 紀彦	70
117	茨城	茨城県立鬼怒商業高等学校	5/10	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 村上 重隆	130
118	三重	三重県立桑名北高等学校	5/11	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	三重 石川 和裕	330
119	茨城	茨城高等学校	5/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 鈴木 孝児	400
120	長崎	長崎県立鳴滝高等学校夜間部	5/13	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	長崎 松本 義昭	40
121	栃木	栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等部	5/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	栃木 田村 鋭夫	240
122	青森	弘前学院聖愛中学高等学校	5/13	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	500
123	大阪	大阪府立貝塚高等学校	5/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 町田 英之	244
124	埼玉	国際学院中学校高等学校	5/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆか	800
125	福島	福島県立郡山萌世高等学校 定時制課	5/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	300
126	秋田	秋田県立由利高等学校	5/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	500
127	秋田	秋田県立秋田南高等学校	5/14	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	680
128	滋賀	滋賀学園高等学校	5/15	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	滋賀 廣瀬 隆一	200
129	茨城	茨城県立取手第一高等学校	5/15	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	720
130	福岡	福岡県立浮羽工業高等学校	5/15	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	九州 新富 正昭	350
131	岩手	岩手県立水沢工業高等学校	5/15	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	400
132	北海道	北海道留辺蘂高等学校	5/15	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	北見 高橋 純	37
133	長野	長野県佐久平総合技術高等学校	5/16	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	230
134	福島	福島県立いわき総合高等学校	5/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	200
135	福岡	福岡県立玄界高等学校	5/20	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	福岡 田上 哲朗	900

【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ◇：交通安全	講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
136	大阪	大阪府立泉南支援学校	5/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 町田 英之	270
137	山形	山形県教育委員会	5/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	50
138	富山	富山県立雄峰高等学校	5/21	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	富山 林 宏二	35
139	愛知	愛知県立東海樟風高等学校	5/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	720
140	宮城	宮城県柴田農林高等学校川崎校	5/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 三部 司	67
141	茨城	鹿島学園高等学校	5/22	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	780
142	山形	山形県立酒田西高等学校 定時制	5/22	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	40
143	山梨	山梨県立日川高等学校	5/22	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	山梨 高木 孝	600
144	熊本	熊本県立八代東高等学校	5/22	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	熊本 緒方 将	250
145	山形	山形県立鶴岡工業高等学校 定時制	5/22	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	10
146	長野	長野県上田千曲高等学校	5/22	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	長野 塚越 直誠	240
147	秋田	秋田県立矢島高等学校	5/22	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	53
148	長崎	長崎県立島原高等学校	5/22	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	長崎 松本 義昭	600
149	愛知	愛知県立高蔵寺高等学校	5/22	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	愛知 寺本 浩	320
150	岐阜	岐阜県立大垣商業高等学校 定時制	5/23	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	岐阜 中村真治	45
151	長野	長野県長野商業高等学校	5/23	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	600
152	山形	山形県立山形養護学校 高等部	5/23	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	12
153	熊本	熊本県立八代清流高等学校	5/23	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	熊本 緒方 将	430
154	宮崎	宮崎県立宮崎大宮高等学校	5/23	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮崎 川野 修	1564
155	北海道	北海道釧路工業高等学校	5/23	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	釧路 澤田 基志	475
156	岐阜	岐阜県立東濃フロンティア高等学校	5/24	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	岐阜 大嶽 悟	180
157	福井	福井県立勝山高等学校	5/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井 伊藤 鉄平	110
158	群馬	群馬県立渋川女子高等学校	5/24	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	600
159	秋田	秋田県立角館高等学校	5/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 相場秀一	500
160	秋田	秋田県立男鹿工業高等学校	5/24	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 横岡 彰	232
161	大阪	東大阪大学柏原高等学校	5/27	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 町田 英之	160
162	青森	青森県立三戸高等学校	5/28	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	青森 中園 浩二	80
163	福島	福島県立小野高等学校	5/28	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	80
164	北海道	北海道江差高等学校	5/28	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	函館 中者 善元	180
165	長野	長野県阿智高等学校	5/29	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	長野 吉川瑠美	230
166	北海道	北海道室蘭栄高等学校	5/29	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 山本 洋平	54
167	秋田	秋田県立秋田北高等学校	5/30	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	680
168	宮城	宮城県泉松陵高等学校	5/30	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	宮城 三部 司	690
169	長野	丸子修学館高等学校	5/30	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	関東 道家 謙太郎	650
170	大阪	大阪府立農芸高等学校	5/30	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 上原 伸公	194
171	新潟	新潟県立長岡明德高等学校	5/31	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	新潟 菅宮 弓里江	60
172	福島	福島県立郡山東高等学校	5/31	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	480
173	山形	山形県立米沢工業高等学校	5/31	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	51
174	福岡	福岡県立水産高等学校	6/3	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 田中 至道	500
175	岩手	岩手県立花北青雲高等学校	6/4	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	480
176	秋田	秋田県立大曲農業高等学校	6/5	◇ヘルメット着用の重要性	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	500
177	福島	福島県立福島西高等学校	6/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	200
178	福岡	筑後特別支援学校	6/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 田上 哲朗	130
179	秋田	秋田県立大曲高等学校	6/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	552
180	神奈川	神奈川県立小田原城北工業高等学校	6/6	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	神奈川 和田 俊司	450



【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ ★：環境・交通技術 ◇：交通安全	講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
181	長野	長野県岩村田高等学校	6/6	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	長野 塚越 直誠	600
182	茨城	茨城県立茎崎高等学校	6/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	100
183	大阪	大阪府立都島工業高等学校	6/7	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	大阪 中植 啓伸	320
184	青森	青森県立五所川原農林高等学校	6/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	青森 中國 浩二	280
185	北海道	北海道札幌啓成高等学校	6/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	960
186	群馬	群馬県立前橋東高等学校	6/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	群馬 金子 公一	640
187	山形	山形県立天童高等学校	6/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	400
188	秋田	秋田県立秋田工業高校	6/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	623
189	北海道	北海道小平高等養護学校	6/14	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	30
190	静岡	静岡県立掛川東高等学校	6/17	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	静岡 松田 兼宏	615
191	北海道	北海道追分高等学校	6/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	55
192	山形	山形県教育委員会（学校体育保健課）	6/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	80
193	岩手	岩手県立住田高等学校	6/19	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	岩手 日戸 一樹	70
194	大阪	東大阪大学柏原高等学校	6/19	◇交通事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	近畿 皆田 香織	163
195	北海道	北海道虻田高等学校	6/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	旭川 後藤 博行	50
196	愛知	愛知県立内海高等学校	6/20	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	150
197	福井	福井県立坂井高等学校	6/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福井 伊藤 鉄平	730
198	北海道	北海道苫小牧工業高等学校	6/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	札幌 細川 広夢	48
199	山形	山形県立新庄北高等学校最上校	6/24	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	山形 野川 智伸	36
200	岐阜	岐阜県立可児工業高等学校	6/25	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	岐阜 大嶽 悟	450
201	福岡	大牟田高等学校	6/26	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	九州 新富 正昭	950
202	佐賀	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	6/27	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	佐賀 山崎 敬介	24
203	茨城	茨城県立土浦第二高等学校	6/28	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 鈴木 孝児	320
204	福島	福島県立聴覚支援学校	6/28	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	15
205	熊本	熊本県立南稜高等学校	6/28	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	熊本 緒方 将	344
206	富山	富山第一高等学校	7/1	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	富山 林 宏二	30
207	茨城	茨城県立麻生高等学校	7/1	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	560
208	茨城	茨城県立江戸崎総合高等学校	7/3	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	160
209	茨城	茨城県立石岡商業高等学校	7/5	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	340
210	福島	桜の聖母学院中学校	7/5	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	福島 田代 秀之	42
211	三重	三重県立伊賀白鳳高等学校	7/8	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	三重 結城 孝一	231
212	福岡	福岡県立嘉穂東高等学校	7/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	福岡 田中 至道	680
213	秋田	秋田県立西目高等学校	7/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	秋田 靱山 雄介	96
214	茨城	水戸葵陵高等学校	7/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	700
215	千葉	日本大学習志野高等学校	7/10	◇交通事故のリスクと損害保険の役割	日本損害保険協会	大阪 田野倉 麻美	379
216	大阪	大阪府立松原高校	7/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 宮崎 祥文	250
217	三重	三重県立宇治山田商業高校	7/10	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	三重 水井 陽一	520
218	兵庫	兵庫県立錦城高等学校	7/11	◇夜間の交通安全対策	日本自動車連盟	兵庫 岡田裕己	150
219	茨城	土浦日本大学高等学校	7/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	648
220	千葉	千葉県立我孫子東高等学校	7/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉 宮内 春奈	500
221	千葉	千葉県立多古高等学校	7/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	千葉 宮内 春奈	213
222	大阪	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校	7/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	大阪 中植 啓伸	64
223	埼玉	埼玉県立越谷西高等学校	7/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆかり	950
224	埼玉	埼玉県立松伏高等学校	7/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全	日本自動車連盟	埼玉 横田 豪	500
225	千葉	千葉県立茂原高等学校	7/17	◇ヘルメット着用的重要性	日本自動車連盟	千葉 宮内 春奈	464

【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
226	三重	三重県立四日市工業高等学校	7/18	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	三重 結城 孝一	70
227	福岡	福岡県立八女工業高等学校	7/18	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	福岡 田上 哲朗	700
228	茨城	明秀学園日立高等学校	7/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	765
229	大阪	大阪府立市岡高等学校	7/22	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	徳島 隅田 清	840
230	徳島	徳島県立徳島聴覚支援学校	7/23	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	徳島 角田 義道	20
231	香川	香川県立坂出工業高等学校	8/8	★カーボンニュートラル社会の未来に貢献するモビリティの最		NAC	- 西村 直人	25
232	長野	長野県下伊那農業高等学校	8/29	★自動運転技術が拓く未来と人との協調		NAC	- 西村 直人	40
233	秋田	秋田県立湯沢高等学校	8/29	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	418
234	大阪	城南学園中学校・高等学校	9/2	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	大阪 町田 英之	500
235	茨城	茨城県立つくば工科高等学校	9/3	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	130
236	富山	富山県立小矢部園芸高等学校	9/3	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	北陸 開口 正博	50
237	秋田	秋田県立大館鳳鳴高等学校	9/4	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	600
238	長野	長野県東御清翔高等学校	9/11	◇ヘルメット着用的重要性		日本自動車連盟	長野 吉川 瑠美	300
239	秋田	秋田県立角館高等学校定時制課程	9/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	30
240	岡山	岡山県立倉敷古城池高等学校	9/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	岡山 建部 拓	840
241	熊本	熊本県立人吉高等学校五木分校	9/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	熊本 緒方 将	15
242	愛知	愛知県立一宮起工科高等学校（昼間定	9/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	愛知 寺本 浩	170
243	鹿児島	志学館中等部・高等部	9/20	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	鹿児島 原山 大器	490
244	福島	福島県立白河第二高等学校	9/24	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	福島 田代 秀之	60
245	茨城	智学館中等教育学校	9/25	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	90
246	三重	三重県立桑名工業高等学校	9/26	★カーボンニュートラル社会の未来に貢献するモビリティの最		NAC	- 西村 直人	5
247	秋田	秋田県立秋田明徳館高等学校 定時制	10/1	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	340
248	岐阜	岐阜県立山県高等学校	10/3	◇ヘルメット着用的重要性		日本自動車連盟	岐阜 浅地 茂樹	230
249	秋田	秋田県立能代高等学校	10/3	◇ヘルメット着用的重要性		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	525
250	大阪	大阪府立東住吉総合高等学校	10/7	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	大阪 宮崎 祥文	650
251	岐阜	岐阜県立羽島高等学校	10/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	岐阜 浅地 茂樹	440
252	福岡	福岡県立春日高等学校	10/9	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	福岡 安東 美香	440
253	埼玉	上尾特別支援学校上尾南分校	10/10	◇交通事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	関東 小澤 純	13
254	茨城	茨城県立日立商業高等学校	10/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	200
255	茨城	茨城県立水戸商業高等学校	10/16	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	280
256	大阪	東大阪大学柏原高等学校	10/16	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	近畿 坂井 裕幸	154
257	三重	三重県立桑名西高等学校	10/16	◇ヘルメット着用的重要性		日本自動車連盟	三重 結城 孝一	840
258	茨城	茨城県立日立商業高等学校	10/16	◇交通事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	福岡 田野倉 麻美	200
259	宮城	宮城県第二工業高等学校	10/18	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	東北 小田川 斉	50
260	福岡	大牟田高等学校	10/21	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	福岡 守安 隆文	445
261	広島	広島県立三次高等学校	10/25	◇自転車事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	中国 山田 高弘	37
262	秋田	秋田県立大曲支援学校	10/29	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	60
263	島根	松江市立皆美が丘女子高等学校	11/5	◇ヘルメット着用的重要性		日本自動車連盟	島根 伊藤 昇	300
264	愛知	愛知県立いなざわ特別支援学校	11/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	46
265	鹿児島	鹿児島県立喜界高等学校	11/7	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	鹿児島 白濱 純洋	130
266	秋田	秋田県立大曲農業高等学校太田分校	11/8	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	秋田 横岡 彰	25
267	大阪	大阪府立守口支援学校	11/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	大阪 中植 啓伸	115
268	愛知	愛知県立安城高等学校	11/11	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	愛知 寺本 浩 大岡 菜摘	69
269	三重	三重県立久居高等学校	11/13	◇ヘルメット着用的重要性		日本自動車連盟	三重 水井 陽一	600
270	山形	山形県立正高等学校	11/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	山形 野川 智伸	160

【資料1-2】令和6年度講師派遣実績（交通社会）

No	都道府県	主催	開催日	テーマ		講師派遣団体・会社／支部	担当 (敬称略)	受講人数
				★：環境・交通技術	◇：交通安全			
271	宮城	宮城県泉松陵高等学校	11/14	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	宮城 宮腰 直人	690
272	大阪	大阪府立りんくう翔南高等学校	11/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	大阪 上原 伸公	200
273	福岡	福岡県立鞍手高等学校	11/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	福岡 安東 美香	750
274	鹿児島	鹿児島情報高等学校	11/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	鹿児島 白濱 純洋	150
275	福島	桜の聖母学院高等学校	11/21	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	福島 田代 秀之	60
276	福島	福島県立いわき翠の杜高等学校	11/22	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	福島 田代 秀之	8
277	茨城	茨城県立多賀高等学校	12/5	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	240
278	北海道	北海道札幌南高等学校	12/9	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	札幌 高橋 純	21
279	愛知	愛知県立国府高等学校	12/11	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	愛知 山崎 剛司	600
280	徳島	徳島県立みなと高等学園	12/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	徳島 角田 義道	26
281	神奈川	神奈川県立新栄高等学校	12/11	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	神奈川 和田 俊司	360
282	千葉	千葉県立清水高等学校	12/12	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	千葉 宮内 春奈	401
283	秋田	秋田県立大館鳳鳴高等学校 定時制	12/12	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	秋田 泉 寿和	80
284	茨城	茨城県立土浦工業高等学校	12/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	茨城 佐々木 修一	196
285	埼玉	埼玉県立川口工業高等学校	12/17	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆかり	60
286	神奈川	神奈川県立川崎北高等学校	12/18	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	神奈川 和田 俊司	293
287	鹿児島	鹿児島県立大島北高等学校	12/18	◇交通事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	九州 町田 正志	1600
288	徳島	徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校	12/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	徳島 角田 義道	111
289	東京	東京都立神津高等学校	12/20	◇夜間の交通安全対策		日本自動車連盟	東京 山根 喬史	50
290	愛知	愛知県立幸田高等学校	12/20	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	愛知 犬飼 菜摘	592
291	佐賀	佐賀県立高志館高等学校	12/20	◇二輪車（バイク）の交通安全～高校生のためのSafety Riding		日本二輪車普及安全会	九州 吉田一紀 下田勝久	10
292	山口	山口県立下関北高等学校	12/23	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	山口 横平 一平	110
293	鹿児島	鹿児島県立英館中学・高等学校	12/25	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	鹿児島 白濱 純洋	20
294	神奈川	横須賀学院高等学校	1/14	★カーボンニュートラル社会の未来に貢献するモビリティの最前線		NAC	- 西村 直人	15
295	茨城	水城高等学校	1/20	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	茨城 鈴木 英夫	500
296	熊本	熊本県立天草拓心高等学校本渡校舎	2/5	◇交通事故のリスクと損害保険の役割		日本損害保険協会	九州 村上 立志	120
297	長野	長野県阿智高等学校	2/19	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	長野 高山 祥	60
298	埼玉	埼玉県立宮代高等学校	3/13	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆかり	600
299	埼玉	埼玉県立熊谷農業高等学校	3/14	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆかり	250
300	埼玉	埼玉県立熊谷農業高等学校	3/17	◇ドライバー・自転車・歩行者から見た交通安全		日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆかり	230
301	愛知	名古屋市長緑高等学校	3/18	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	愛知 犬飼 菜摘	720
302	岡山	岡山県立新見高等学校	3/18	★カーボンニュートラル社会の未来に貢献するモビリティの最前線		NAC	- 西村 直人	52
303	埼玉	埼玉県立狭山緑陽高等学校	3/21	◇ヘルメット着用の重要性		日本自動車連盟	埼玉 坂田カレンゆかり	400
交通社会教育計								103,467
自動車技術教育計								2,138
総合計								105,605

【資料2】令和6年度教材贈呈式・教育懇談会開催状況

(敬称略)

■青森県

日時	令和6年11月26日(火) 13:30~15:00			
場所	一般社団法人 青森県自動車会議所			
出席者	1) 来賓	青森県教育庁 学校教育課	指導主事	柁木 康之
	2) 学校関係者	青森県立弘前工業高等学校	校長	工藤 和樹
		青森県立弘前工業高等学校	主任	白川 瑞元
		青森県立八戸工業高等学校	主任	館 義明
		青森県立むつ工業高等学校	教諭	加藤 始
		弘前東高等学校	科長	成田 安秋
		八戸工業大学第一高等学校	主任	佐藤 僚太
	3) 財団関係者 〈青森県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部	支部長	小野 大介
		(青森県自動車教育推進協議会)	会長	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部	専務理事	石川 善孝
		(青森県自動車教育推進協議会)	事務局長	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部	事務局長	大久保直樹
		(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部	次長代理	永澤 里美
		(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部	総務課	大澤真央子
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 東北支社	担当部長	進藤 健之

■岩手県

日時	令和6年11月25日(月) 13:00~14:30			
場所	ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING			
出席者	1) 来賓	岩手県教育委員会事務局 学校教育室	産業・復興教育課長	多田 拓章
	2) 学校関係者	岩手県立盛岡工業高等学校	副校長	尾崎 芳彦
		岩手県立盛岡工業高等学校	科長	小平 創
		岩手県立盛岡工業高等学校 定時制	科長	千葉 亘
		岩手県立黒沢尻工業高等学校	科長	佐々木 雄一
		岩手県立水沢工業高等学校	教諭	藤沼 俊介
	3) 財団関係者 〈岩手県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 岩手県支部	支部長	元持 儀之
		(岩手県自動車教育推進協議会)	会長	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 岩手県支部	常務理事	宮野 和之
		(岩手県自動車教育推進協議会)	事務局長	
		(一社)岩手県自動車整備振興会	専務理事	幅 栄次
		(一社)日本自動車販売協会連合会 岩手県支部	主任	松本 美貴
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 東北支社	担当部長	進藤 健之

■宮城県

日時	令和6年11月15日(金) 13:00~15:00			
場所	株式会社ホンダモビリティ東北 本社			
出席者	1) 来賓	宮城県教育委員会事務局 高校教育課	主幹	佐々木智鶴
	2) 学校関係者	宮城県工業高等学校	校長	山中 弘記
		宮城県村田高等学校	教諭	柿崎 明弘
		宮城県登米総合産業高等学校	教諭	下地 邦仁
		宮城県黒川高等学校	科長	村上 誠
		宮城県加美農業高等学校	教諭	佐藤 尊
		宮城県石巻工業高等学校	教諭	伊藤 優斗
		宮城県古川工業高等学校 定時制	教諭	鈴木 卓哉
		仙台市立仙台工業高等学校	教諭	伊藤 篤
	3) 財団関係者 〈宮城県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 宮城県支部	支部長	渡邊 広章
		(宮城県自動車教育推進協議会)	会長	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 宮城県支部	常務理事	佐藤 博昭
		(宮城県自動車教育推進協議会)	事務局長	
		(一社)宮城県自動車整備振興会	専務理事	寺戸 成周
		(一社)日本自動車販売協会連合会 宮城県支部		阿部 里花
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社	東北支社長	吉田 雅仁

■福島県

日時	令和6年11月22日（金）13：00～14：30				
場所	（株）福自販会館				
出席者	1) 来賓	福島県教育庁 高校教育課	主幹	柳橋 幸裕	
		福島県教育庁 高校教育課	指導主事	佐藤 貴之	
	2) 学校関係者	福島県立福島工業高等学校	校長	山内 義美	
		福島県立福島工業高等学校	教諭	渡辺 元一郎	
		福島県立二本松実業高等学校	教諭	小林 龍一	
		福島県立郡山北工業高等学校	教諭	平栗 祐亮	
		福島県立清陵情報高等学校	教諭	佐藤 泰仙	
		福島県立白河実業高等学校	教諭	田部 清楓	
		福島県立白河実業高等学校 塙校舎	主任	金澤 靖	
		福島県立会津工業高等学校	教諭	小池 恵生	
		福島県立喜多方桐桜高等学校	主任	岩沢 巖	
		福島県立平工業高等学校	教諭	須藤 克彦	
		福島県立小高産業技術高等学校	主任	佐藤 隆志	
	3) 財団関係者 〈福島県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 福島県支部	支部長 会長)	小室 和人	
		(福島県自動車教育推進協議会 (一社)日本自動車販売協会連合会 福島県支部	専務理事 事務局長)	安藤 利之	
		(福島県自動車教育推進協議会 (一社)福島県自動車整備振興会	専務理事	小野 隆	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 福島県支部	係長	尾形 拓樹	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 福島県支部		丹治美千子	
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社	東北支社長	吉田 雅仁	

■茨城県

日時	令和6年11月1日（金）13：00～15：00				
場所	茨城日産自動車株式会社 本社				
出席者	1) 来賓	茨城県教育庁 学校教育部 高校教育課	指導主事	近藤 正伸	
	2) 学校関係者	茨城県立水戸工業高等学校	校長	久松 政信	
		茨城県立水戸工業高等学校	科長	松本 欽也	
		茨城県立勝田工業高等学校	教諭	高畠 香	
		茨城県立玉造工業高等学校	教諭	小吹 明彦	
		茨城県立土浦工業高等学校	教諭	森田 正之	
		茨城県立取手第一高等学校	主任	下川 拓哉	
		茨城県立八千代高等学校	主任	小平 利昭	
		茨城県立総和工業高等学校	教諭	安生 健司	
	3) 財団関係者 〈茨城県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 茨城県支部	支部長 会長)	加藤 敏彦	
		(茨城県自動車教育推進協議会 (一社)日本自動車販売協会連合会 茨城県支部	専務理事 事務局長)	市川 昌幸	
		(茨城県自動車教育推進協議会 (一社)茨城県自動車整備振興会	会長	綿引 義城	
		(一社)茨城県自動車整備振興会	専務理事	亀崎 洋治	
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	桐山 功	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 関東支社		鈴木 章平	

■静岡県

日時	令和6年11月1日（金）13：00～14：30				
場所	グランディエールブクトウカイ				
出席者	1) 来賓	静岡県教育庁 高校教育課	教育主幹	山口 亮祐	
	2) 学校関係者	静岡県立科学技術高等学校	校長	小野 聡	
		静岡県立科学技術高等学校	教諭	坂本 貴志	
		静岡県立科学技術高等学校 定時制	教諭	松田 孝一	
		静岡県立伊豆総合高等学校	教諭	高木 行博	
		静岡県立御殿場高等学校	教諭	牧田 晋吾	
		静岡県立沼津工業高等学校	校長	鈴木 広隆	
		静岡県立富岳館高等学校	教諭	岡本 陽和	
		静岡県立駿河総合高等学校	教諭	林 良	
		静岡県立藤枝北高等学校	教頭	松山 英昭	
		静岡県立島田工業高等学校	教諭	田平 文章	
		静岡県立掛川工業高等学校	教諭	飯田 祥央	
		静岡県立小笠高等学校	教頭	望月 達彦	
		静岡県立遠江総合高等学校	教諭	老川 高弘	
		静岡県立浜松城北工業高等学校	校長	寺田 弘隆	
		静岡県立浜松工業高等学校	副校長	平井 光裕	
		静岡県立浜松工業高等学校 定時制	教諭	馬淵 泰之	
		飛龍高等学校	科長	大石 康史	
	3) 財団関係者 〈静岡県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 静岡県支部	支部長 会長)	太田 勝之	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 静岡県支部	専務理事 事務局長)	古屋 勝治	
		(一社)静岡県自動車整備振興会	専務理事	萩原 真治	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 静岡県支部	総務部係長	前田祐一郎	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 静岡県支部	総務部係長	堀池 温子	
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 中部支社		望月 章平	

■岐阜県

日時	令和6年10月30日（水）13：00～14：30				
場所	岐阜キャッスルイン				
出席者	1) 来賓	岐阜県教育庁 高校教育課	課長補佐兼係長	藤本 幸弘	
	2) 学校関係者	岐阜県立岐阜工業高等学校	校長	堀 秀樹	
		岐阜県立岐阜工業高等学校	教諭	由良 陽介	
		岐阜県立岐阜工業高等学校 定時制	副校長	渡部 彰規	
		岐阜県立岐南工業高等学校	主任	辻 整	
		岐阜県立大垣工業高等学校	副校長	藤原 竹志	
		岐阜県立多治見工業高等学校	教諭	長島 栄次	
		岐阜県立中津川工業高等学校	主任	小池 勉	
		岐阜県立高山工業高等学校	教諭	反中 哲也	
		関市立関商工高等学校	主任	横井 直	
		岐阜第一高等学校	教諭	安藤 和一	
	3) 財団関係者 〈岐阜県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 岐阜県支部	支部長 会長)	加藤 元康	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 岐阜県支部	専務理事 事務局長)	藤川 正人	
		(一社)岐阜県自動車整備振興会	専務理事	加藤 正光	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 岐阜県支部	事務局長	高井 幸宏	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 岐阜県支部	総務部課長代理	大園 智美	
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 中部支社		望月 章平	

■愛知県

日時	令和6年10月31日（木）13：00～14：30				
場所	NTPビジネスプラザ				
出席者	1) 来賓	愛知県教育庁 高校教育課	主査	横山 亮	
	2) 学校関係者	愛知県立愛知総合工科高等学校	校長	山口 直人	
		愛知県立愛知総合工科高等学校	教諭	津崎 雄二	
		愛知県立名古屋工科高等学校	教諭	伊藤 優	
		愛知県立瀬戸工科高等学校	教諭	近田 達哉	
		愛知県立一宮工科高等学校	教諭	宮田 憲	
		愛知県立一宮起工科高等学校	教諭	鶴飼 秀明	
		愛知県立愛西工科高等学校	主任	佐藤 巧二	
		愛知県立豊田工科高等学校	教諭	山邊 智志	
		愛知県立岡崎工科高等学校	教諭	秋田 悟志	
		愛知県立岡崎工科高等学校 定時制	教諭	伴 高広	
		愛知県立豊橋工科高等学校	主任	小林 徹也	
		愛知県立豊橋工科高等学校 定時制	教諭	村松 大地	
		愛知県立豊川工科高等学校	主任	泉亨 毅	
		名古屋市立工業高等学校	主任	高川 登一	
		名古屋たちばな高等学校	教諭	岸 竜平	
		名古屋工業高等学校	科長	吉岡 俊一	
		中部大学第一高等学校	教諭	山田 恭久	
	3) 財団関係者 〈愛知県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 (愛知県自動車教育推進協議会)	愛知県支部 支部長 (会長)	小林 剛	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 (愛知県自動車教育推進協議会)	愛知県支部 専務理事 (事務局長)	伊藤 敏男	
		(一社)愛知県自動車整備振興会	愛知県支部 専務理事	森川 靖生	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	愛知県支部 総務部長	山中 東	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	愛知県支部 総務次長	佐部利 宏	
	〈財 団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 中部支社	支社長	谷口 利満	
		整備新聞社	代表取締役	横関 基一	

■三重県

日時	令和6年11月8日（金）13：00～15：00				
場所	三重日産自動車販売（株） 本社				
出席者	1) 来賓	三重県教育委員会事務局 高校教育課	指導主事	稲濱 章誠	
	2) 学校関係者	三重県立伊勢工業高等学校	校長	奥山 敦弘	
		三重県立伊勢工業高等学校	科長	長谷川公一	
		三重県立四日市工業高等学校	科長	砂川 匠	
		三重県立四日市工業高等学校 定時制	教諭	浅川 裕之	
		三重県立四日市中央工業高等学校	教諭	村山 章	
		三重県立津工業高等学校	教諭	中村 能也	
		三重県立松阪工業高等学校	教諭	杉谷 直紀	
		三重県立伊賀白鳳高等学校	教諭	矢代 一樹	
	3) 財団関係者 〈三重県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会 (三重県自動車教育推進協議会)	三重県支部 支部長 (会長)	岩井 純朗	
		(一社)日本自動車販売協会連合会 (三重県自動車教育推進協議会)	三重県支部 専務理事 (事務局長)	駒田 仁史	
		(一社)三重県自動車整備振興会	教育指導部長	伊藤 忠志	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	三重県支部 総務部次長	福田 恭二	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	三重県支部 総務部係長	井ノ口佳子	
		三重日産自動車（株）	取締役営業副本部長	岩井 俊和	
		三重日産自動車（株）	人事教育グループ課長	小野 徹雄	
	〈財 団〉	(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 中部支社		南 和彦	

■滋賀県

日時	令和6年11月11日（月）13：00～15：00				
場所	株式会社 滋賀トヨタ 本社				
出席者	1) 来賓	滋賀県教育委員会事務局	高校教育課	指導主事	今井 正
	2) 学校関係者	滋賀県立彦根工業高等学校		校長	大久保 貴生
		滋賀県立彦根工業高等学校		教諭	大野 良太
		滋賀県立長浜北星高等学校		教諭	田中 康博
		滋賀県立八幡工業高等学校		教諭	梅本 泰弘
		滋賀県立国際情報高等学校		主任	川口 良太
	3) 財団関係者 〈滋賀県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会	滋賀県支部	支部長	吉川 敦巳
		(滋賀県自動車教育推進協議会)		会長)	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	滋賀県支部	専務理事	井戸木 亘
		(滋賀県自動車教育推進協議会)		事務局長)	
		(一社)滋賀県自動車整備振興会		会長	富岡 誠次
		(一社)滋賀県自動車整備振興会		専務理事	中谷 恒夫
		(株) 滋賀トヨタ	取締役常務執行役員	管理本部長	中川 巖
		(一社) 日本自動車販売協会連合会	滋賀県支部	参事	嶋本 努
		(一社) 日本自動車販売協会連合会	滋賀県支部	総務部課長	嵯峨根 淳一
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団		部長	山本 実
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社	関西支社	京都支局長	大島 清孝
		びわ湖放送(株)			福本 雅俊

■京都府

日時	令和6年12月12日（木）13：00～15：00				
場所	京都トヨペット株式会社 本社				
出席者	1) 来賓	京都府教育庁指導部	高校教育課	総括指導主事兼係長	田中 英一
	2) 学校関係者	京都府立工業高等学校		校長	野村 善之
		京都府立工業高等学校		教諭	中森 耕平
		京都府立田辺工業高等学校		科長	松井 裕介
	3) 財団関係者 〈京都府〉	(一社)日本自動車販売協会連合会	京都府支部	支部長	澤井 孝之
		(京都府自動車教育推進協議会)		会長)	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	京都府支部	専務理事	山岡 宏
		(京都府自動車教育推進協議会)		事務局長)	
		(一社)京都府自動車整備振興会		専務理事	矢川 賢治
		(一社)日本自動車販売協会連合会	京都府支部	係長	山田 喜朗
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団		部長	山本 実
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社	関西支社		室 翔大
		(株)京都自動車新聞社			上田 洋平

■奈良県

日時	令和6年11月21日（木）10：00～11：30				
場所	奈良トヨタ株式会社 奈良本社				
出席者	1) 来賓	奈良県教育委員会事務局	高校教育課	主査	乾 祐士
	2) 学校関係者	奈良県立奈良商工高等学校		校長	長谷川 智
		奈良県立王寺工業高等学校		教諭	覺前 友哉
		奈良県立御所実業高等学校		教諭	堀田 亮介
	3) 財団関係者 〈奈良県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会	奈良県支部	支部長	菊池 攻
		(奈良県自動車教育推進協議会)		会長)	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	奈良県支部	専務理事	澤島 弘幸
		(奈良県自動車教育推進協議会)		事務局長)	
		(一社)奈良県自動車整備振興会		専務理事代行	立花 龍明
		(一社)日本自動車販売協会連合会	奈良県支部	主任	谷口佳代子
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団		部長	桐山 功
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社	関西支社		室 翔大
		奈良新聞社			滝村 正巳
		奈良テレビ(株)			小串佳津英



■大阪府

日時	令和6年12月4日（水）13：00～14：30					
場所	リーガロイヤルホテル大阪					
出席者	1) 来賓	大阪府教育庁 教育振興室	高校改革課	指導主事	山崎 公平	
	2) 学校関係者	大阪府立布施工科高等学校		校長	中井 宏典	
		大阪府立東淀工業高等学校		首席	石原喜代志	
		大阪府立淀川工科高等学校		教諭	岡野 一也	
		大阪府立都島工業高等学校		教諭	藤原 英明	
		大阪府立泉尾工業高等学校		科長	高見 亘	
		大阪府立校岡樟風高等学校		校長	林田 健祐	
		大阪府立今宮工科高等学校		教諭	松川 文彦	
		大阪府立東住吉総合高等学校		首席	八島 信行	
		大阪府立堺工科高等学校		首席	安井隆嘉之	
		大阪府立和泉総合高等学校		教諭	清水 功	
		堺市立堺高等学校		教諭	入江 真伸	
		大阪府立だいせん聴覚高等支援学校		科長	加茂田修義	
		星翔高等学校		教諭	池田 尚央	
	3) 財団関係者 〈大阪府〉	(一社)日本自動車販売協会連合会	大阪府支部	支部長	久保 尚平	
		(大阪府自動車教育推進協議会		会長)		
		(一社)日本自動車販売協会連合会	大阪府支部	専務理事	谷本 保文	
		(大阪府自動車教育推進協議会		事務局長)		
		(一社)大阪府自動車整備振興会		専務理事	藤本 実	
		(一社)大阪府自動車整備振興会		部長	遠藤 和哉	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	大阪府支部	係長	今村まゆ美	
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団		部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 関西支社		次長	岸田 正幸	

■兵庫県

日時	令和6年12月16日（月）13：00～14：30					
場所	ANAクラウンプラザホテル神戸					
出席者	1) 来賓	兵庫県教育委員会事務局	高校教育課	副課長兼班長	辰田 奈味	
	2) 学校関係者	兵庫県立兵庫工業高等学校		校長	岩井 高士	
		兵庫県立兵庫工業高等学校		科長	山口 慎一	
		兵庫県立神戸工業高等学校		教諭	後藤 直好	
		兵庫県立尼崎工業高等学校		科長	武石 敦則	
		兵庫県立武庫荘総合高等学校		教諭	山田 祐司	
		兵庫県立東播工業高等学校		科長	京谷 伸剛	
		兵庫県立小野工業高等学校		教諭	細見 克広	
		兵庫県立飾磨工業高等学校		教諭	杉村 謙太	
		兵庫県立相生産業高等学校		校長	魚住 啓明	
		兵庫県立相生産業高等学校 定時制		教諭	正木 基司	
		兵庫県立淡路高等学校		教諭	神野 純	
		兵庫県立洲本実業高等学校		科長	松崎 厚人	
		神戸市立神戸工科高等学校		教諭	津村 謙二	
		尼崎市立尼崎双星高等学校		教頭	開田 守	
		彩星工科高等学校		教諭	山下 浩司	
	3) 財団関係者 〈兵庫県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会	兵庫県支部	支部長	長手 繁	
		(兵庫県自動車教育推進協議会		会長)		
		(一社)日本自動車販売協会連合会	兵庫県支部	専務理事	木村 淳三	
		(兵庫県自動車教育推進協議会		事務局長)		
		(一社)兵庫県自動車整備振興会		専務理事	成久 博康	
		(一社)日本自動車販売協会連合会	兵庫県支部	主任	福田 宏美	
	〈財団〉	(公財)日本自動車教育振興財団		部長	山本 実	
	4) マスコミ	(株)日刊自動車新聞社 関西支社		次長	岸田 正幸	

■和歌山県

日時	令和6年11月12日（火）13：00～14：00			
場所	和歌山県立和歌山工業高等学校			
出席者	1) 学校関係者	和歌山県立和歌山工業高等学校	校長	藤田 勝範
		和歌山県立和歌山工業高等学校	科長	出口 峻司
		和歌山県立和歌山工業高等学校	教諭	田中 昌
		和歌山県立箕島高等学校	教諭	岡本 邦孝
		和歌山県立田辺工業高等学校	教諭	岡部 成樹
	2) 財団関係者 〈和歌山県〉	(一社)日本自動車販売協会連合会	和歌山県支部 支部長	新古 広光
		(和歌山県自動車教育推進協議会	専務理事)	
		〈財 団〉(公財)日本自動車教育振興財団	部長	山本 実
		3) マスコミ		南 和彦
		(株)日刊自動車新聞社 中部支社		藤田有希子
		(株)和歌山新報社		

## 令和6年度事業報告附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 日本自動車教育振興財団